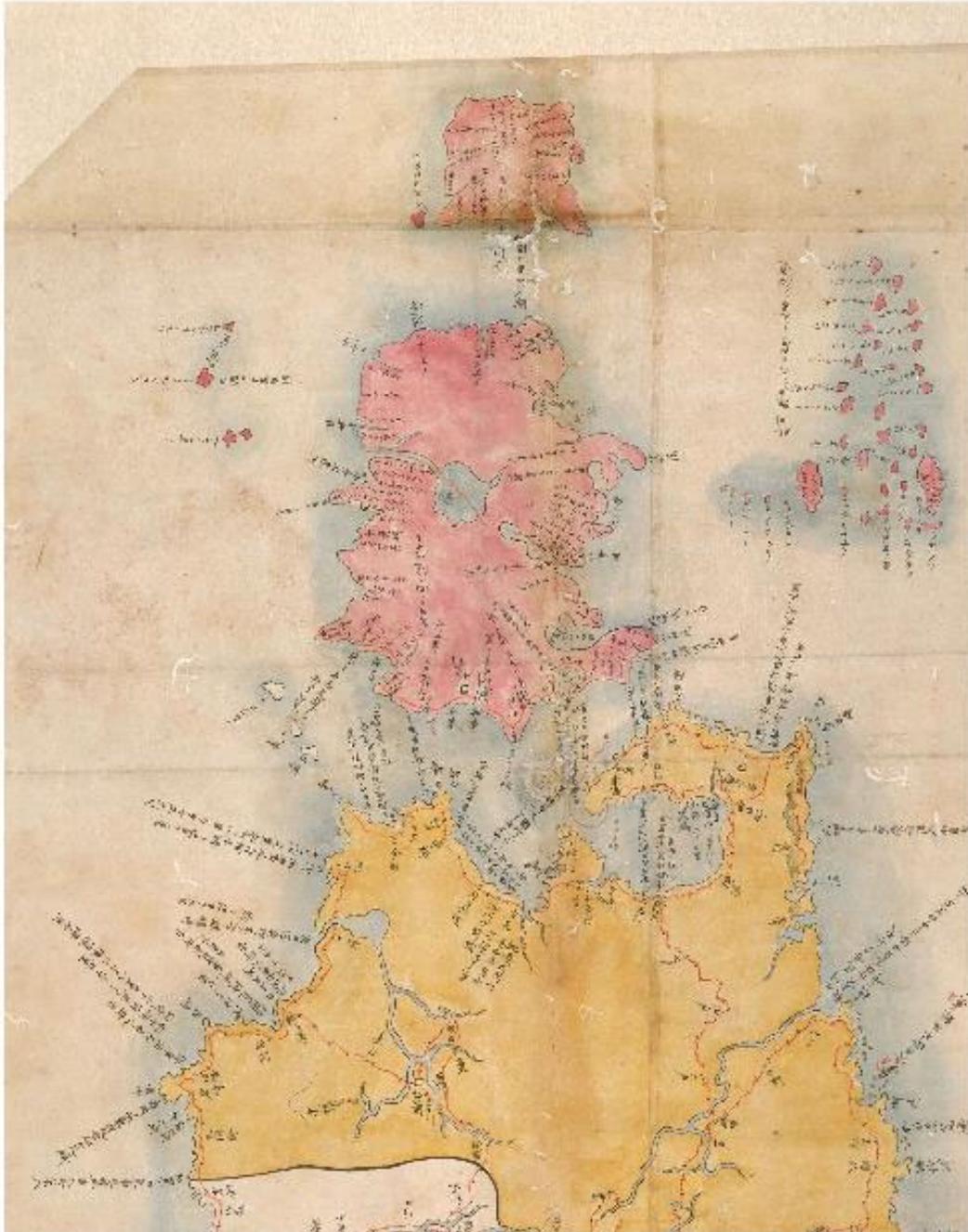


# 1. 資料

## 3) 地図 ①



b-6\_00570

資料名	正保日本図（蝦夷地部分）（画像データ）
資料整理番号	b-6_00570
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	国立歴史民俗博物館
資料の寸法 cm	240(H)×228(W) 全体
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	国立歴史民俗博物館所蔵 国立歴史民俗博物館より画像データを申請のうえ 取得(H-110-5-2)

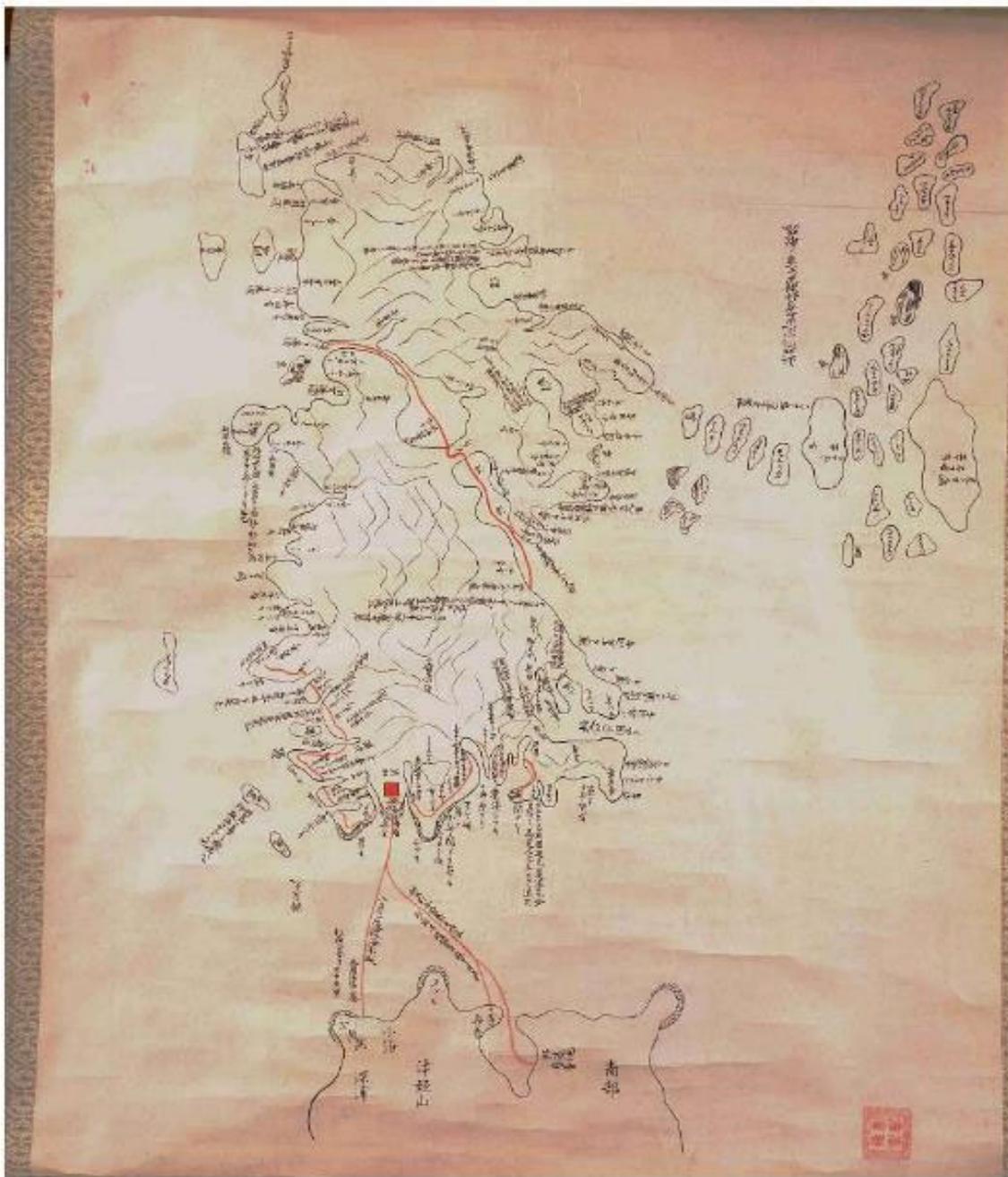
江戸幕府は、正保元年(1644)、全国の大名に命じて国絵図（国ごとの詳細な大型図）の作成と提出を命じた。収納された国絵図に基づき、数年後に幕府が作成したのが正保日本総図である。この時、松前藩も「松前島図」を提出したが、その原本も控え図も現存せず、正保日本総図によって、松前藩が提出した図が、どのような図形であったかが分かるのである。これが日本で作成され現存する最古の蝦夷地図である。中央の島が蝦夷地で、その北にある方形状がカラフト島、東側の小さい島々が国後島、択捉島等と推定される島々である。写図・着彩。

江戸初期（1640-1780）  
蝦夷地図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00400

資料名	蝦夷の絵図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00400
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	68(H)×115(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010Eソ6001)  本図は正保国絵図「松前島図」系統図を縮小したもので、図中の記載から寛文8年(1668)頃の写しと思われる。単独の蝦夷地図としては現存最古の1枚であろう。写図・着彩。  江戸初期(1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00427

資料名	松前蝦夷図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00427
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1668年頃／寛文8年頃／江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	86(H)×67(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物91） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000200000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000200000000000</a> 正保国絵図系統の蝦夷地図である。やはり、図中の書き入れによって、寛文8年(1668)頃の図を後年に写したと思われる。北部にあるカラフト島は欠いている。写図・無彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。

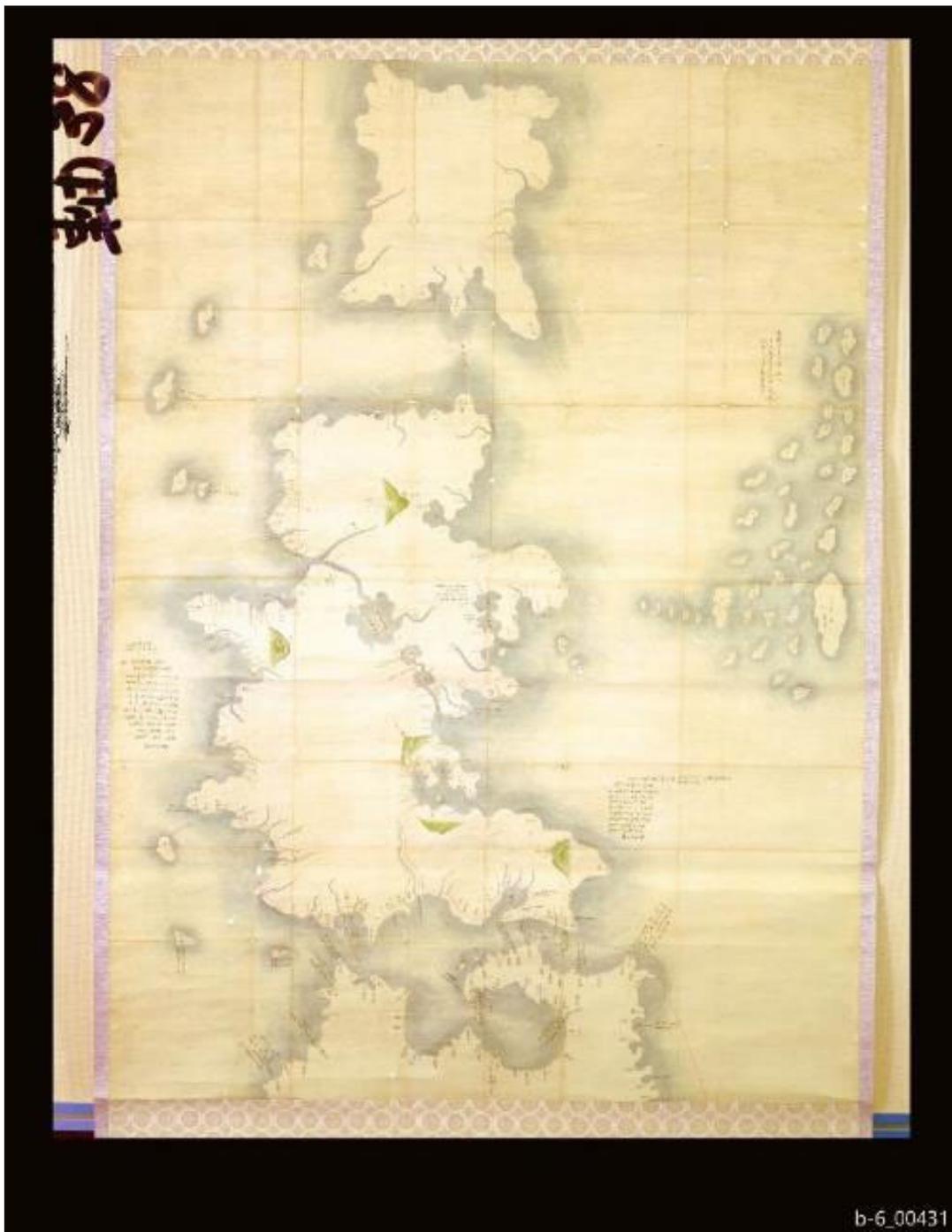


資料名	元禄国絵図 (松前島図) (画像データ)
資料整理番号	b-6_00430
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1700年／元禄13年／江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	79(H)×64(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物210) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000290000001000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000290000001000</a> 幕府は元禄10年(1697)に再び全国の大名に国絵図の作成と提出を命じた。本図は松前藩が同13年に作成し・提出した「松前島図」正本(原本)を模写したものであるが、正保国絵図の図形と大きな相違はみられない。写図・着彩。 江戸初期 (1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00401

資料名	正精松前図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00401
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	261(H)×169(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010ナカ7001)  本図は水戸藩主・徳川齊昭の所蔵した元禄国絵図「松前島図」の縮写図である。極大型図であり、「長久保玄珠閣」と記載されるが、長久保玄珠とは、現茨城県高萩市出身の地理学者・長久保赤水で、水戸藩に仕えた儒学者でもあった。正確詳細な日本地図を出版したことで知られる。ここでいう「松前」とは「松前城下・松前市街」を指すのでなく、「松前藩の支配する島」の意味である。写図・着彩。  江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00431

資料名	蝦夷之図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00431
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	144(H)×105(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物38） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000310000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000310000000000</a></p> <p>元禄国絵図系統の写図である。蝦夷地の図形は大きく変わり、半島や岬もはっきりと目立つようになる。渡島半島と国後島、択捉島等と推定される島々も大きく描かれている。写図・着彩。</p> <p>江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。</p>



b-6\_00432

資料名	蝦夷国古写図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00432
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	96(H)×152(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類624) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D0003300000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D0003300000000000</a>  元禄国絵図系統の写図である。書き入れ文として「馬では通れない」などと記している。また「文化五戊辰二月上旬、蘭山模写」と記載され、文化5年(1808)に江戸の戯作者・高井蘭山の写しと推測される。蘭山には『蝦夷国私説』という編著もある。写図・着彩。  江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



▷ 6.00402

資料名	蝦夷島全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00402
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	97(H)×199(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010コシ6003) 元禄国絵図系統の蝦夷図であるが、半島や岬が極端に大きく描写された特異な図形をもつ地図である。各地の様子や産物などについて多くの記載がある。文久3年(1863)に弘前(現青森県弘前市)藩士・小島左近が箱館(現函館市)で写した図で、小島は同2年に箱館警備を命じられている。写図・着色。 江戸初期(1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00452

資料名	アソノ図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00452
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	86(H)×67(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物91) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000200000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000200000000000</a> 寛文9年(1669)に蝦夷地でアイヌのシャクシャインが中心となって蜂起した出来事があったが、その時、作成された蝦夷図である。随所に同蜂起に関する記載文や地名が見られる。東側は地続きのままの半島状である。写図・着彩。 江戸初期 (1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。





資料名	松前蝦夷地絵図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00450
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	96(H)×113(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類647) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000120000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000120000000000</a> 北から南に向けて大きな半島状の蝦夷図で、地名は、東は「白いと」(現知床)まで、西は「てしほ」(現天塩)まで記載されている。西から「石かり川」が流れ、北から大川(現天塩川か)と合流して「水海」となる。西側の海に小嶋・大嶋・るいしん嶋(現利尻島)・唐戸嶋(現カラフト島)などの島々が描かれる。写図・着色。 江戸初期 (1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00428

資料名	蝦夷図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00428
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	102(H)×102(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類622) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000210000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000210000000000</a> 中央の島々の集合体が蝦夷地本島で「石狩川・てしほ川」があり、「松前・上国・へけれち」などの地名が見える。本島の周囲には「小嶋・大嶋」のほかに「女嶋・大こく嶋・はたかしま」などの架空の島々も見える。このような架空の島が描かれるのは初期蝦夷図の特徴の一つである。写図・着色。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00429

資料名	松前夷人嶋絵図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00429
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	61(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物66) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000260000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000260000000000</a> 半島状の蝦夷図であるが、半島の陸地に沿って朱線を引いて東西に分け、それぞれに地名を記載している。大きな特徴は29箇所松前藩重臣名と知行地名を明記することである。「知行地」とはアイヌとの交易のため、家臣に与えた地域である。写図・着彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



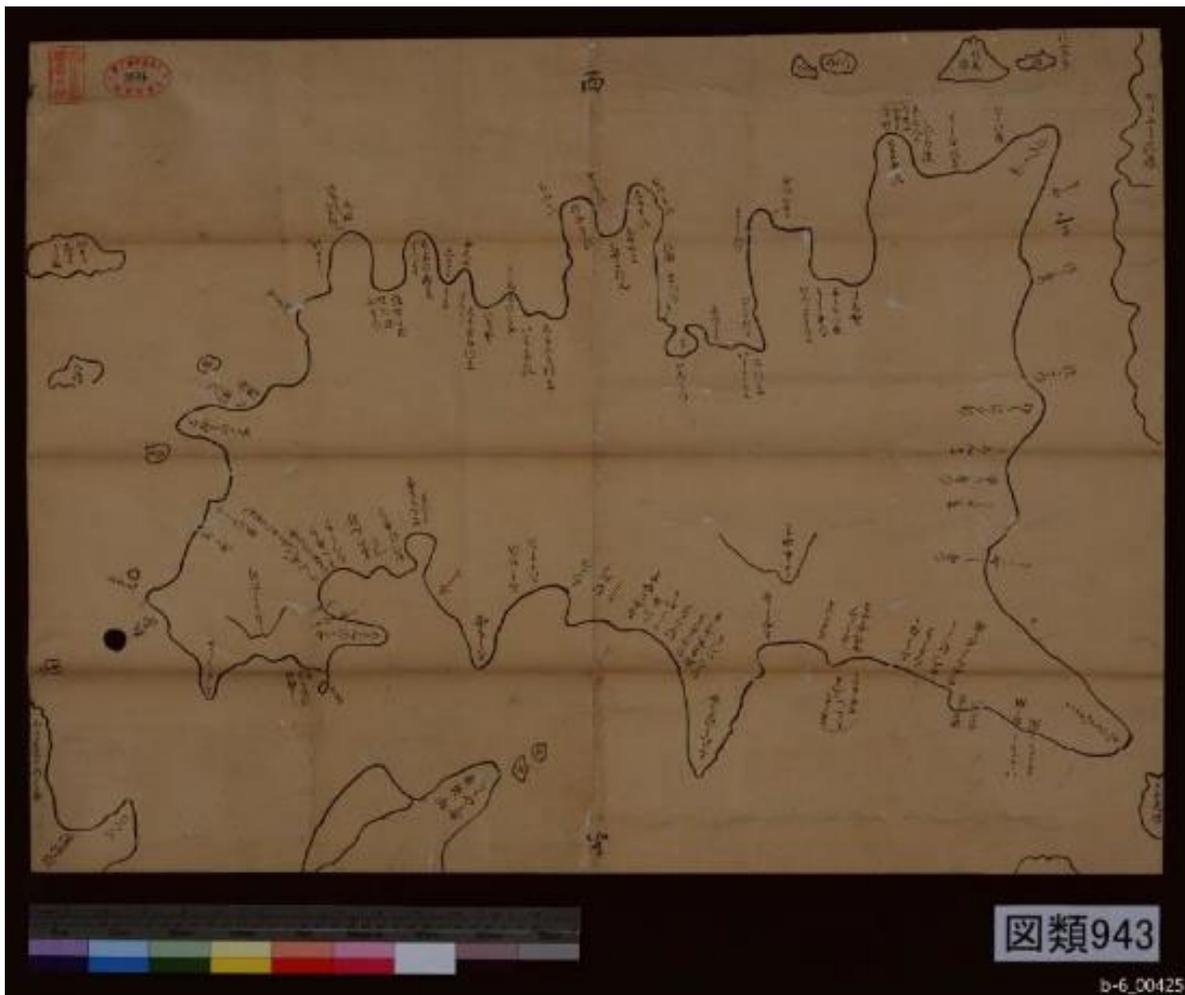
b-6\_00403

資料名	松前蝦夷図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00403
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	138(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010マツ4001) 南北に細長く、東側に大きく襟裳岬が突き出す特異な図である。図の中央に「蝦夷長サ三百里、横広所二百里」と記載する。「クロフ島・女ノ島・小人島」という架空の島も見える。延宝年間(1673～1680)の作成と推測される。写図・着色。 江戸初期(1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。

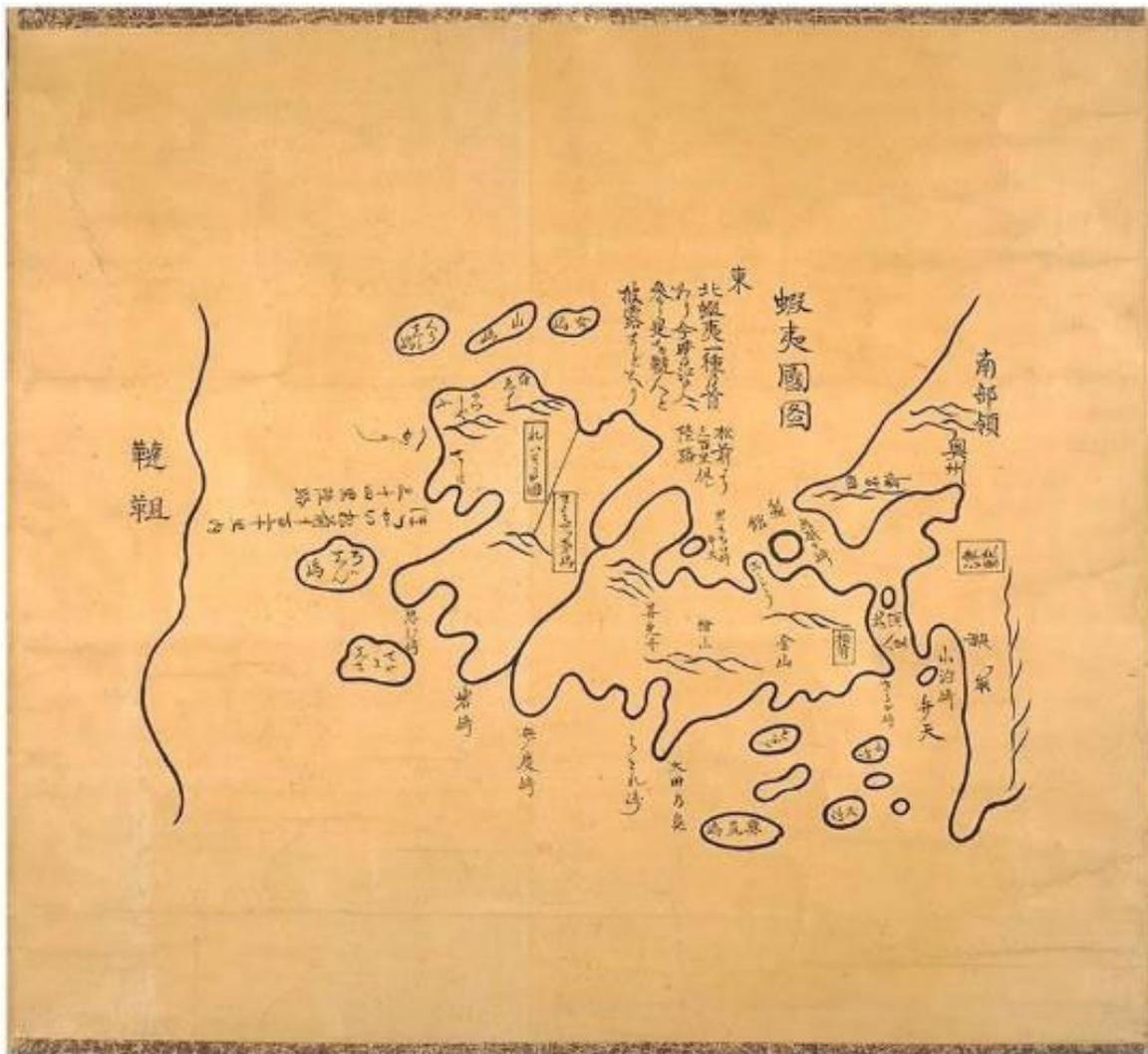


b-6\_00426

資料名	松前蝦夷地理之図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00426
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	50(H)×94(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類649） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000140000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000140000000000</a> 蝦夷地は東西に広がる大島として描かれ、中央を石狩川と思われる川が流れる。東の海中に「クナ尻・ラツコタン・エソロツ」などの島々も見える。初期蝦夷図の1枚である。写図・着彩。  江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。

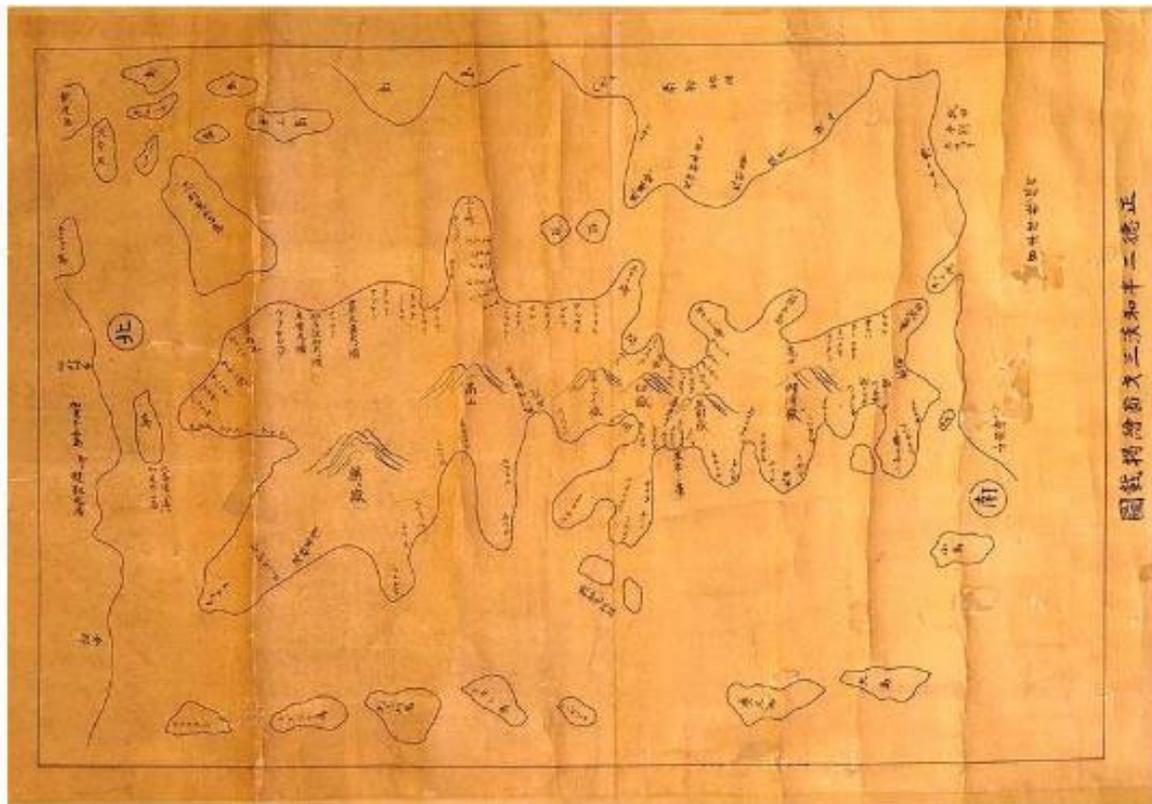


資料名	古写松前図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00425
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	55(H)×73(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類943） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000130000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000130000000000</a> 初期蝦夷図で東西に細長い図である。「えれものはな」(襟裳岬)、「しりえとこ」(知床半島)などの他に「からふとの嶋・くな尻嶋」も見える。写図・無彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00453

資料名	蝦夷国図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00453
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	70(H)×79(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物77） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000360000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000360000000000</a> 尾張(現名古屋市)藩士・天野信景の編著になる『塩尻』は、多くの分野にわたる随筆集である。その中に掲載されるのが「蝦夷国図」である。元禄頃の図と思われ、「白糸とこ」(現知床半島)の沖に「女嶋・山嶋・くらしう嶋」が見える。写図・無彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00454

資料名	蝦夷之図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00454
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	57(H)×86(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

備考  
北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物104)  
<https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000370000000000>

『和漢三才図会』は、現大阪市の医師・寺島良安の編著で正徳6年(1716)頃に木版で出版された絵入り百科辞書(全81冊)である。その中に掲載されたのが「蝦夷之図」である。細長い蝦夷地が描かれ、知床半島は離島として表現されている。写図・無彩。

江戸初期(1640-1780)  
蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。

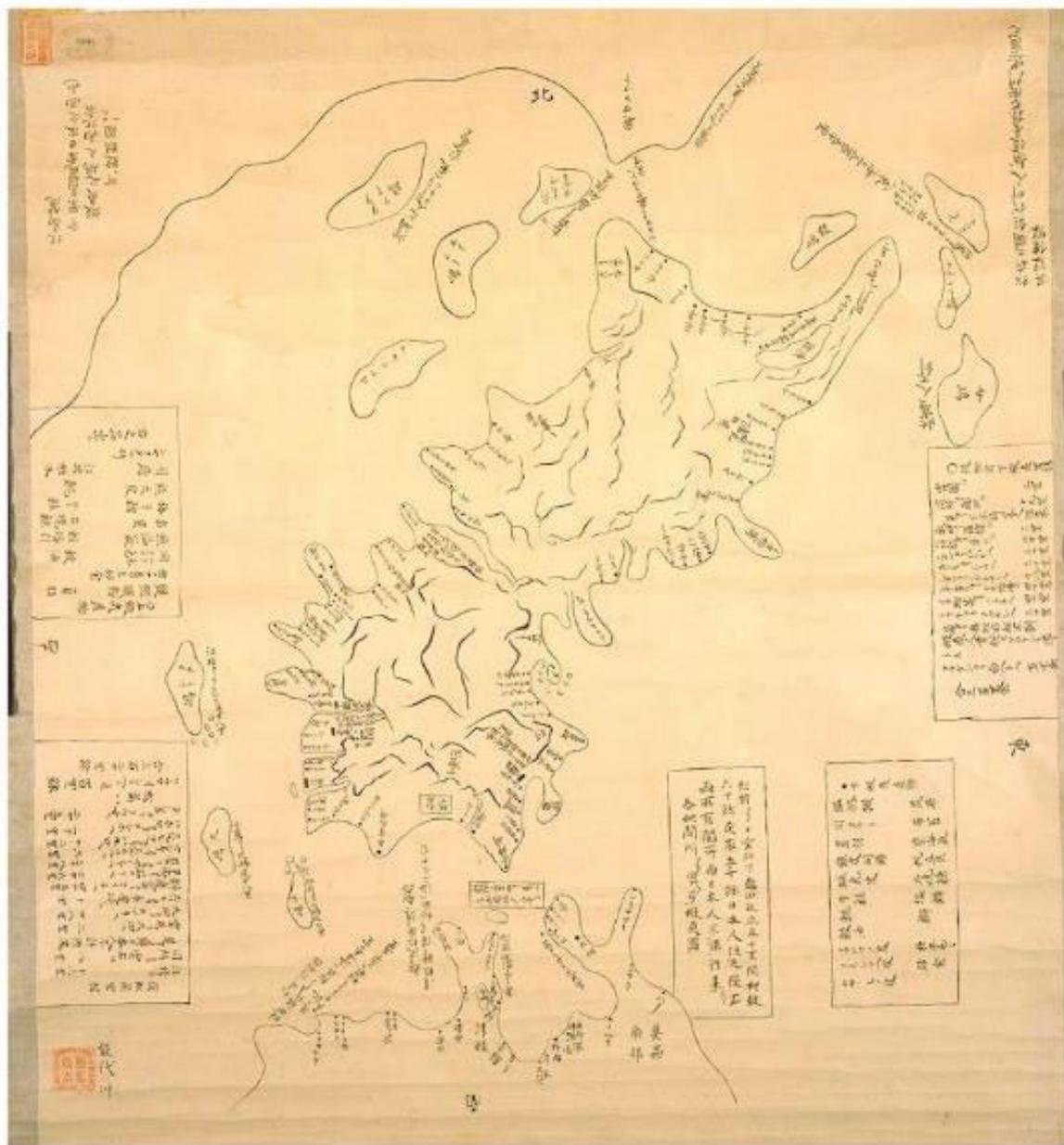


b-6 00433

資料名	蝦夷島全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00433
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	177(H)×111(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物28） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000420000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000420000000000</a></p> <p>蝦夷地を細長い図形として描き、半島や岬はゆるやかである。「クナシリ」の周りに島々があり、「沖二嶋九ツ有り不印」と記している。元禄15年(1702)以降、蝦夷地で木材用の森林伐採を請負った現岐阜県下呂市出身の飛騨屋久兵衛旧蔵の図である。写図・着彩。</p> <p>江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。</p>

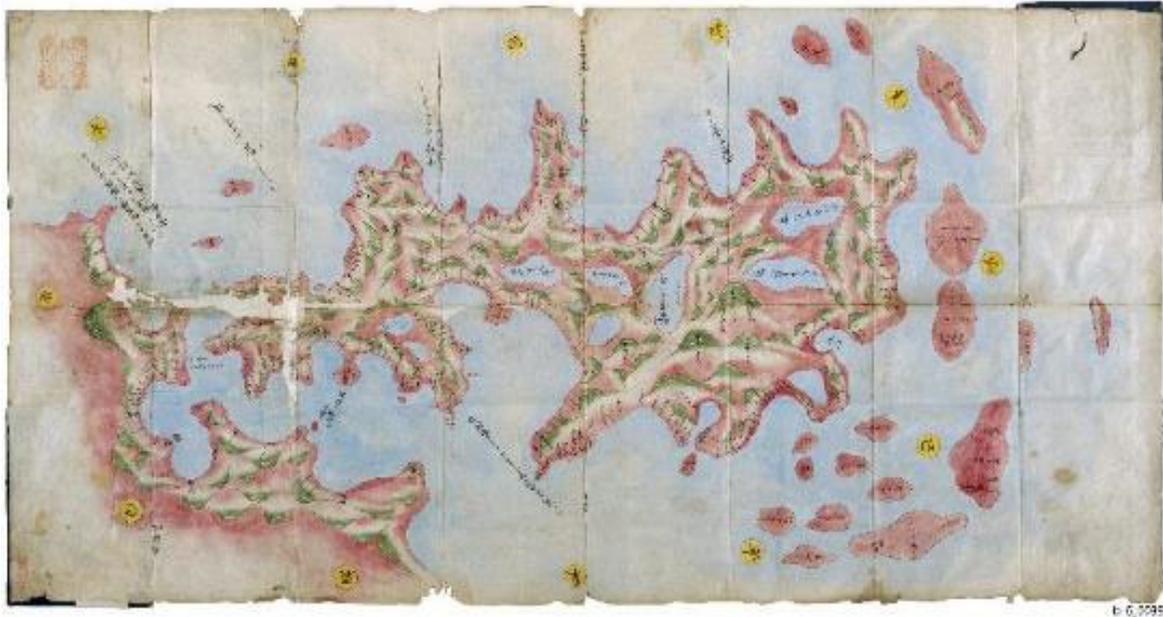


資料名	蝦夷全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00436
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	206(H)×202(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物190) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000800000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000800000000000</a></p> <p>元禄国絵図系統の蝦夷図である。北部は描かれていない。原図の裏面に「山城屋安右衛門」とあり、山城屋は江戸の商人らしい。内陸部に山々を多く描写しており、地名も豊富である。明和3年(1766)頃の作成と思われる。写図・着色。</p> <p>江戸初期(1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。</p>



b-6\_00405

資料名	蝦夷全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00405
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	88(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物67） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record?id=0D000350000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record?id=0D000350000000000</a> 初期蝦夷図の1枚であるが、図中に「上下蝦夷産物」として36の品々を掲載する。また東西蝦夷地の里程も記載し、クルシリ嶋(現クナシリ島)やラツコシマ(現ウルップ島)も見える。「能代町人越後屋孫右衛門」と記す。写図・着彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



資料名	東西／蝦夷全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00394
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	60(H)×118(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010トウ3002)

蝦夷地の図形は細長く、内陸部に大きな湖を九つ描写している。北部に「チカカラフト・トウナンカラフト」という島が描かれ、「ヲロツフ・セムシリ」という架空の島もある。写図・着彩。

江戸初期（1640-1780）  
蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00397

資料名 東山道陸奥松前千畷及方州掌覽之図  
(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00397

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸初期

寄贈者/入手元 函館市中央図書館デジタル資料館

資料の寸法 cm 97(H)×110(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010トウ5001)

蝦夷地の様子が地形的に徐々に詳しくなりつつある時期の図である。蝦夷地の産物や方言も記載される。蝦夷地の周囲は「五百有余里」ともある。カラフト島も離島として細長く描かれ、国後島、択捉島等と推定される島々も島形が明確になっている。写図・着色。

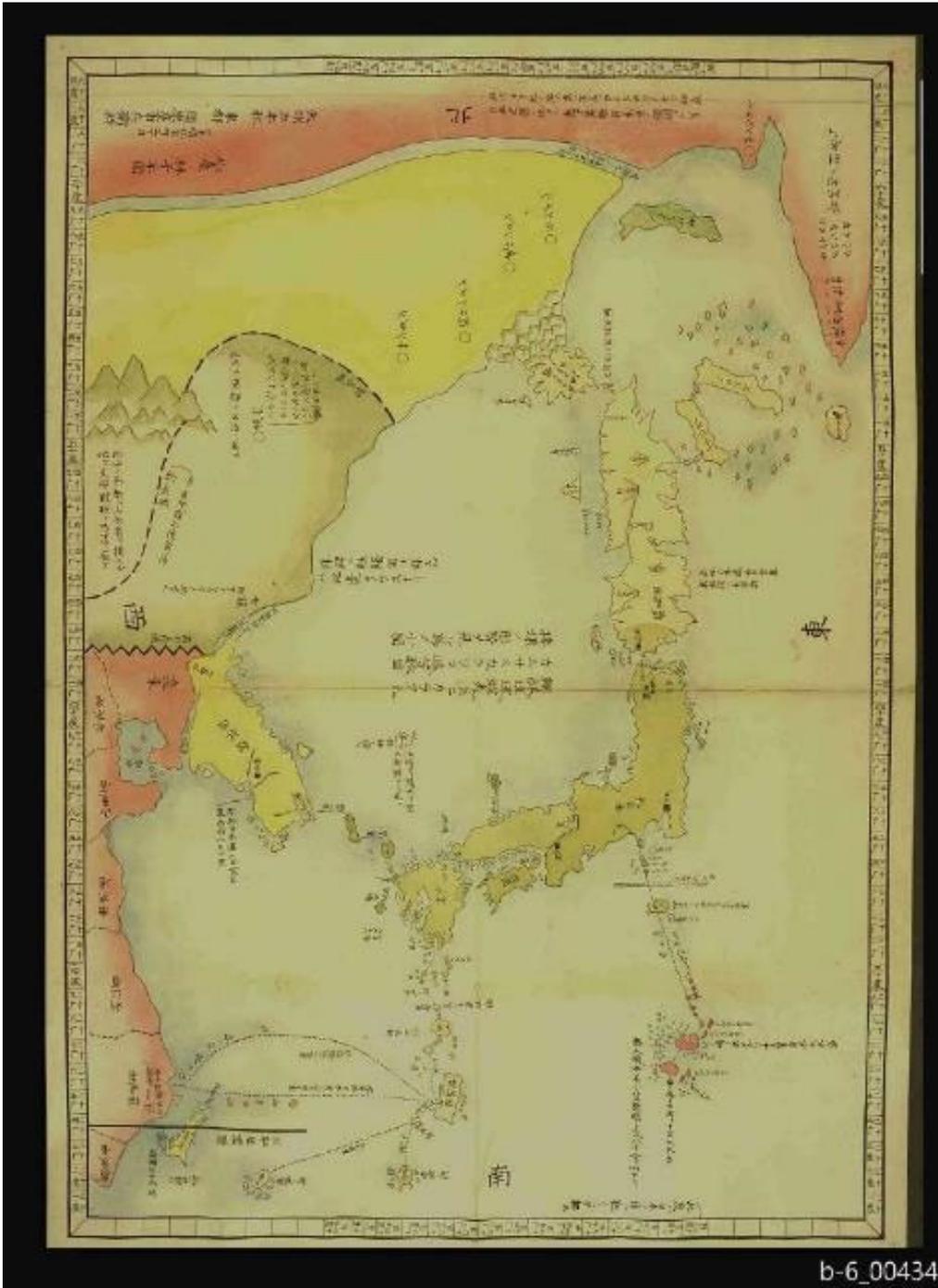
江戸初期（1640-1780）

蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



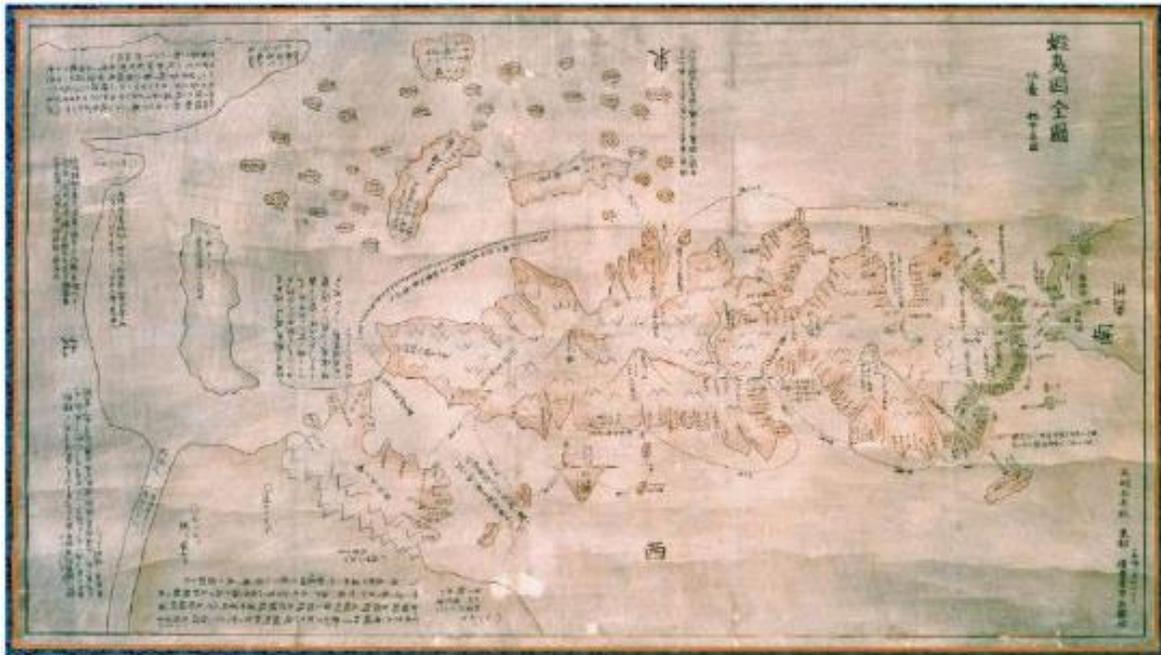
b-6\_00460

資料名	蝦夷松前図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00460
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	106(H)×76(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物80） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00087000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00087000000000</a> 『松前志』は天明元年(1781)に松前藩家老・松前廣長が著わした著作であるが、その中に鳥瞰図風の蝦夷地図が掲載される。その図と同様の図形をもつ蝦夷地図である。写図・着彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00434

資料名	三国通覧輿地路程全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00434
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1785年／天明5年／江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	76(H)×54(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物82) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000590000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000590000000000</a> 天明6年(1786)、仙台(現宮城県仙台市)の海防学者・林子平は、『三国通覧図説』を出版した。内容は日本を取り巻く蝦夷地、琉球、小笠原諸島、朝鮮の歴史・地理に関することを記述したもので、付図にこれらの地図5枚をつけたものである。本図はその中の1枚で、日本とその周辺を描写した日本地図である。木版・着彩。 江戸初期(1640-1780) 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00455

資料名	蝦夷国全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00455
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1785年／天明5年／江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	54(H)×95(W))
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物48) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00048000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00048000000000</a> 『三国通覧図説』付図5枚の1枚である。刊記は「天明五年秋」とあるが、実際の出版は翌6年である。蝦夷地は細長く、カラフト島は半島として描かれ、別に「サガリン」島も描かれる。クナシリ・エトロフ両島が大きく描かれている。最初の木版蝦夷図である。木版・着彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



資料名	蝦夷国全図
資料整理番号	b-6_00320
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1785年／天明5年／江戸初期
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	54(H)×96(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	『三国通覧図説』は出版から数年後の寛政4年(1792)、人心を惑わすとの理由から幕府から絶版を命じられた。その後、数多くの写本・写図が作られ、今に現存するものが極めて多い。本図はそのような写図の1枚であるが、木版図を正確に写している。写図・着彩。  江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00321

資料名 蝦夷之全図

資料整理番号 b-6\_00321

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸初期

寄贈者/入手元 -

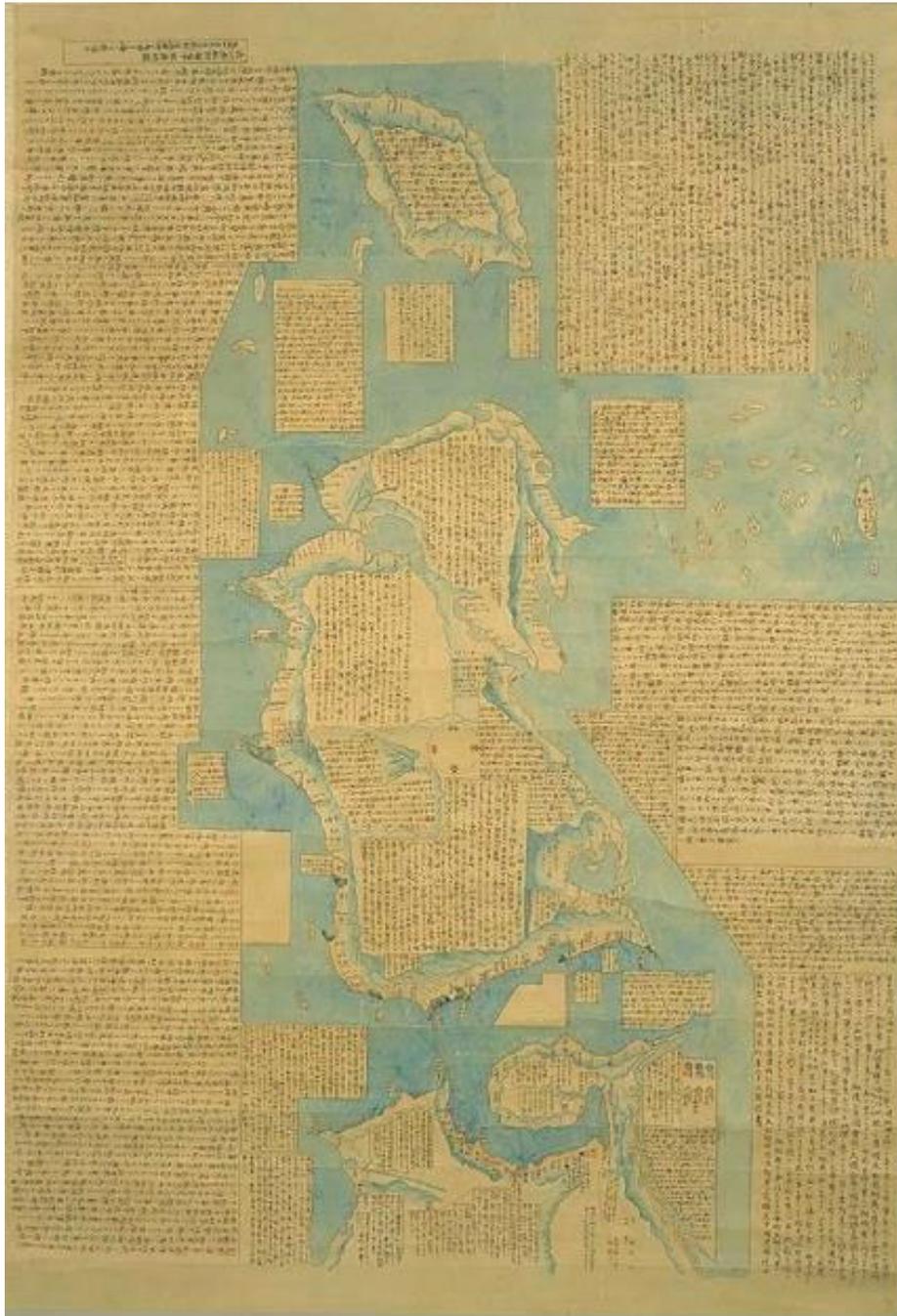
資料の寸法 cm 151(H)×161(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 林子平の『蝦夷国全図』を写した図であり、原図(出版図)を正確に写し、記載文もほぼ同様である。重要な点は、原図を極めて大きく拡大して迫力ある精写図に仕上げた事である。数多く残る同図の写図の中でもこのような大きな図は見当たらない。写図・着彩。

江戸初期（1640-1780）

蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



b-6\_00457

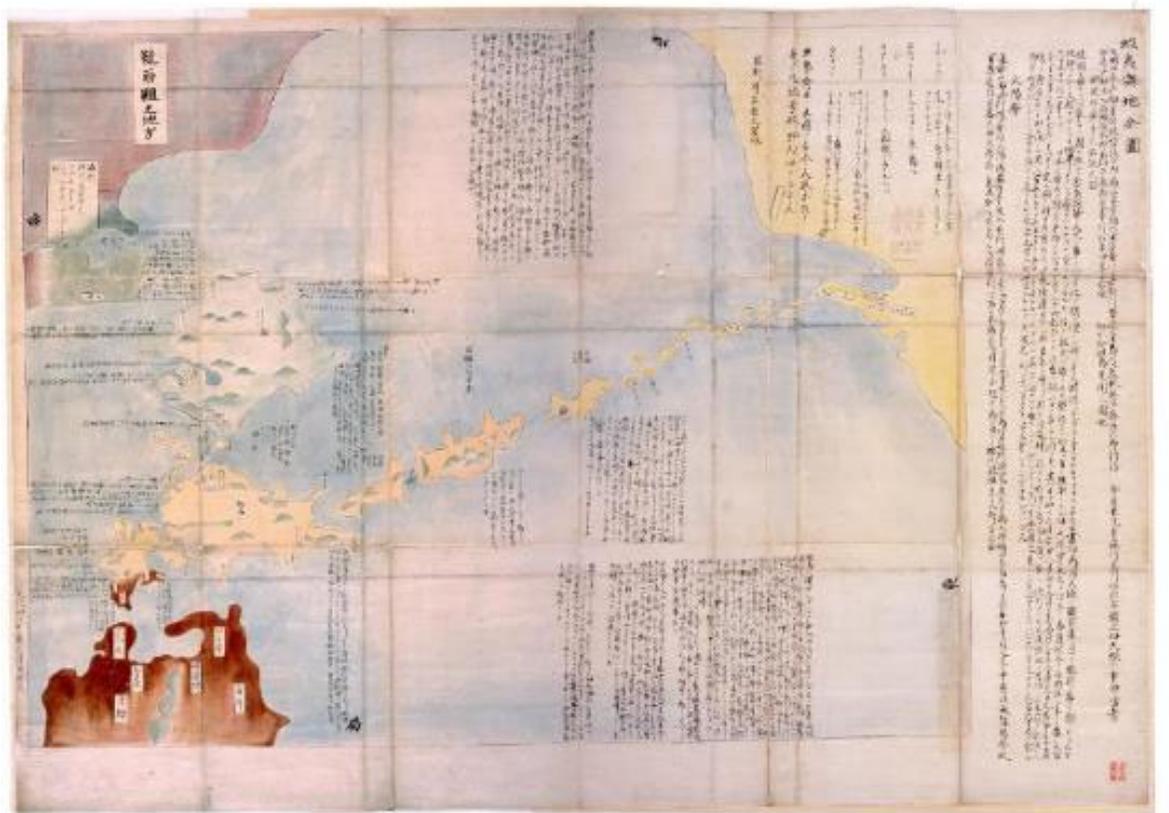
資料名	蝦夷図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00457
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸初期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	115(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物64) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00069000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00069000000000</a> 天明8年(1788)、幕府は蝦夷地へ巡検使を派遣した。その時、随行したのが、現岡山県総社市出身の地理学者・古川古松軒である。そのとき松前藩所蔵の蝦夷図を基にして作成されたのが本図である。図形は古い国絵図系の地図に似るが、周囲に蝦夷地に関する詳細な記事を掲載しているのが大きな特徴である。写図・着彩。 江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。



資料名	蝦夷地并魯西亜山丹満洲地形絵図 (画像データ)
資料整理番号	b-6_00416
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	国立公文書館
資料の寸法 cm	96(H)×97(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	国立公文書館より画像データを申請のうえ取得

天明5年(1785)、幕府は初めて蝦夷地の調査に踏み切った。2年にわたる実地踏査によって作成された蝦夷図は、従来の図を一新するような見事なものであった。その特徴は蝦夷地の図形が現在の姿を彷彿とさせるものであったことと国後島、択捉島及び千島列島が初めて一直線に並んだことである。図中には簡単な説明文が載り、天明6年、普請役・山口鍊五郎以下3名の名前がある。別に「松前図」を載せている。天保3年(1832)の写しである。写図・着彩。

江戸中期 (1781-1820)  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



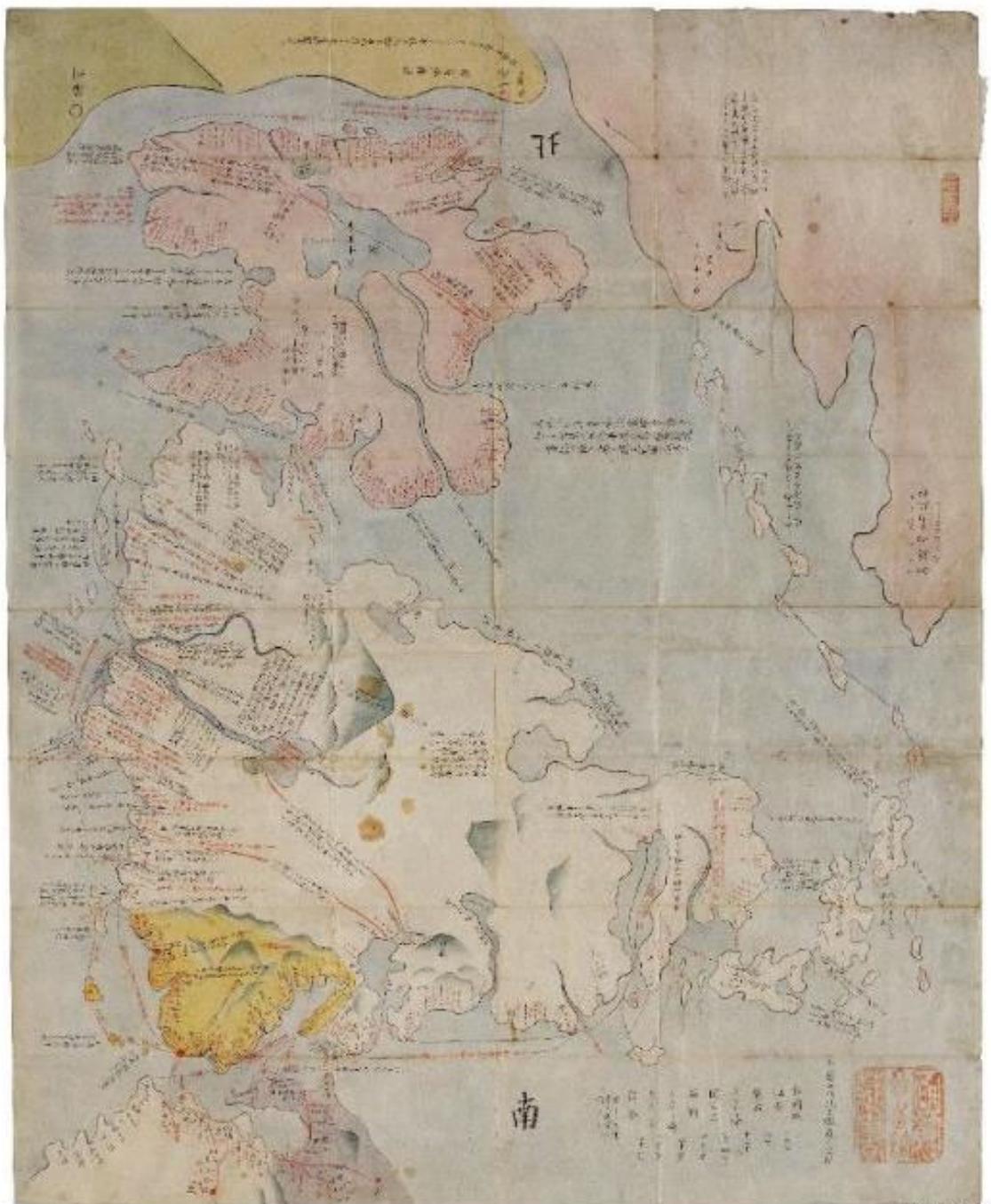
b-6\_00387

資料名	蝦夷輿地全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00387
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	89(H)×129(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

備考  
函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010Eソ7001)

天明5年(1785)、6年に幕府の普請役等によって初めての蝦夷地調査によって作成された蝦夷図である。図の周囲にこの調査の報告書ともいえる『蝦夷拾遺』の記事を多く掲載している。文化4年(1807)の写しである。

江戸中期 (1781-1820)  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00398-01

資料名	蝦夷絵図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00398
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	82(H)×61(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

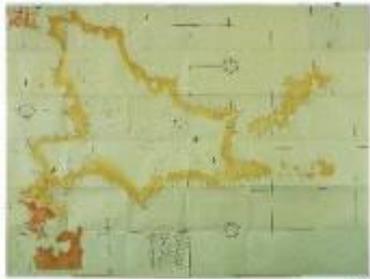
備考  
函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010Eソ3005)

元禄国絵図系統図が後年になって変形してゆく過程の地図である。蝦夷地の図形はやや三角状になっている。カラフト島には大きな湖や河川が見える。また、天明5、6年の幕府の蝦夷地調査のことが記載されている。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00458-01



資料名	蝦夷風俗人情之沙汰付図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00458
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1790年／寛政2年／江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	75(H)×66(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（旧記193） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000740000004000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000740000004000</a>

『蝦夷国風俗人情之沙汰』は別に『蝦夷草紙』ともいい、幕府の役人として勤務した、現山形県村山市出身の最上徳内が寛政2年(1790)に著わしたものである。最上は天明以来、数度にわたって蝦夷地を実地調査した。本図はその付図とした5枚組である。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。

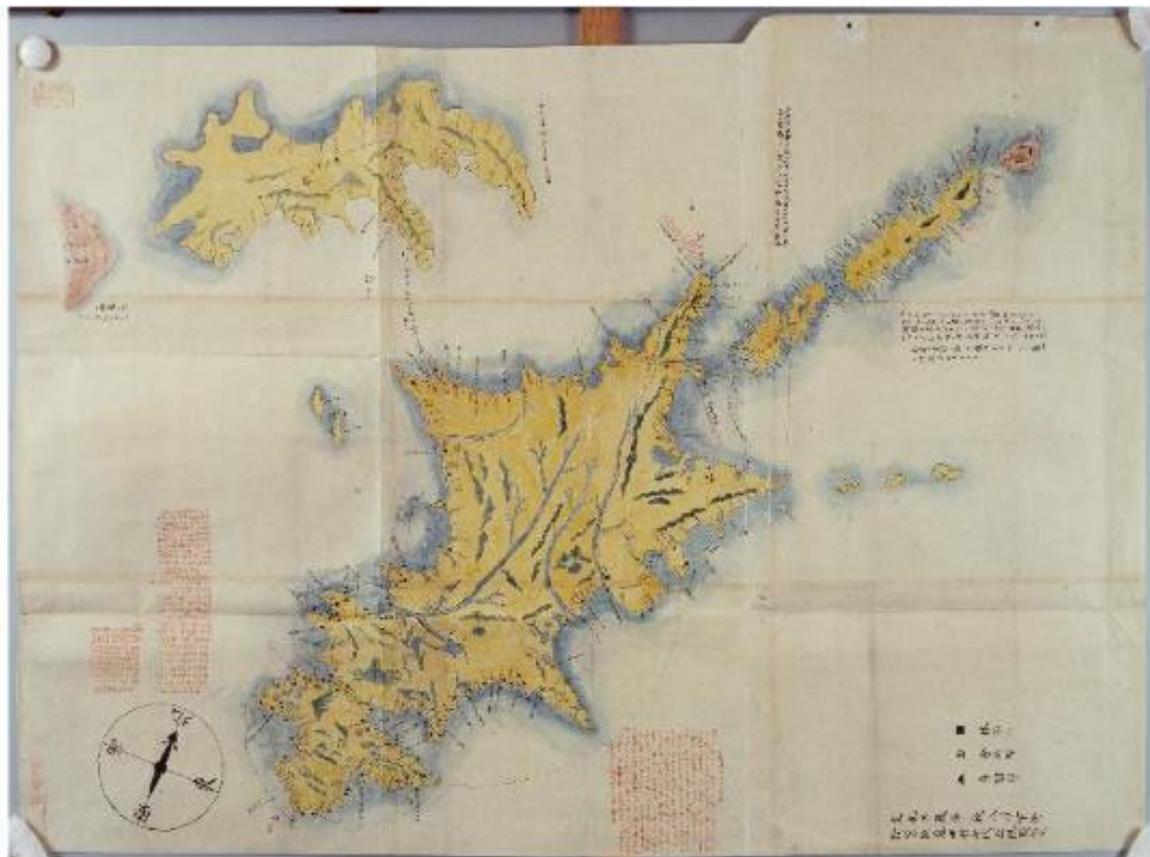


資料名	松前地図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00407
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	85(H)×105(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類645） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00090000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00090000000000</a>

松前藩士で藩医でもあった加藤肩吾が寛政3年(1791)頃に作成した自筆の蝦夷地図である。東西に長いカラフト島を載せ、扁平な図形の蝦夷地であるが、その後、松前藩の蝦夷地図として長く写されていく。ここで言う「松前」とは「松前城下・松前市街」を指すのではなく、「松前藩の支配する島」の意味である。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00466

資料名	蝦夷カラフト図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00466
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	80(H)×109(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類1045） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001070000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001070000000000</a> 加藤肩吾図と同系統の蝦夷図である。文化5年(1808)に函館(現函館市)の陣営で写すとの記載がある。写図・着彩。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名 蝦夷唐太地図(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00464

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸中期

寄贈者/入手元 北海道大学附属図書館北方資料室

資料の寸法 cm 77(H)×107(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物29）  
<https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00100000000000>

蝦夷地の図形は加藤肩吾図と同じであるが、カラフト島は大陸に接続し、別に「サガリン」島も描かれている。天保12年(1841)に酒井朝益が写したものである。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00465

資料名	蝦夷地之図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00465
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	91(H)×124(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類82) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00105000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00105000000000</a>  加藤肩吾図と同様の地図である。写図・着彩。  江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。

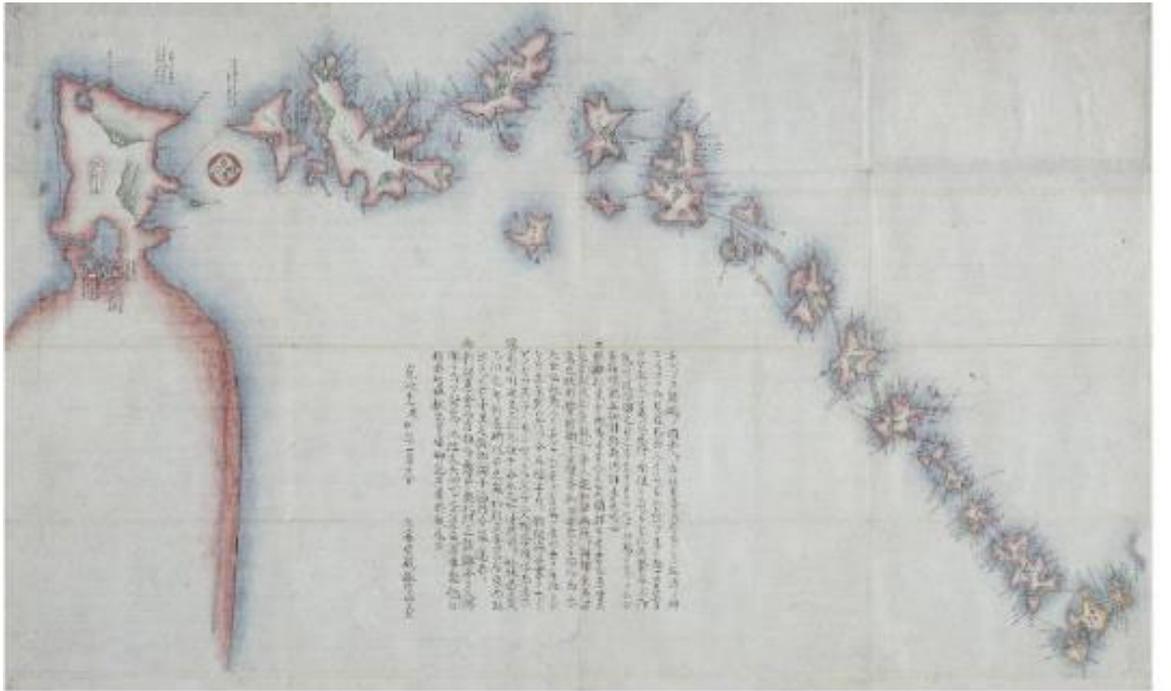


資料名	蝦夷全嶋故図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00461
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	108(H)×114(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類629) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00092000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00092000000000</a></p> <p>蝦夷地に続いてカラフト島と大陸、国後島、択捉島及び千島列島からカムチャツカに至る広い範囲を描いた図である。写図・着彩。</p> <p>江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



b-6\_00383-01

資料名	蝦夷地図式 乾(画像データ)
資料整理番号	b-6_00383
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1802年／享和2年／江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	75(H)×92(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得（K08コン3001）  近藤重藏は江戸出身の幕府の役人である。数度にわたってイトロフ島と蝦夷地の実地調査に携わり著作も多い。寛政12年(1800)に千島アイヌの聞き書きによって作成された「チュプカ諸島図」(千島列島図)と当時として正確な図形をもつ享和2年(1802)作成の「蝦夷地図」の2枚組図である。写図・着彩。  江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



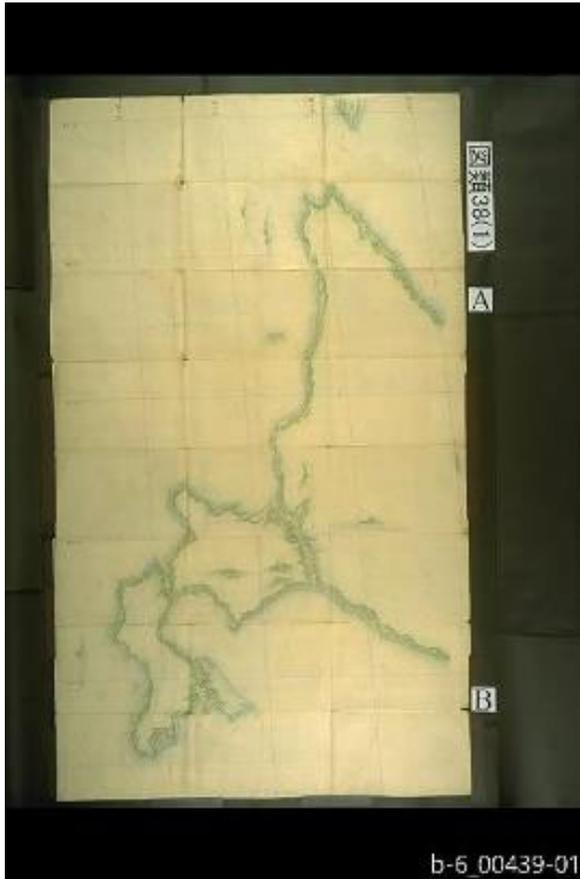
b-6\_00384

資料名	蝦夷地図式 坤(画像データ)
資料整理番号	b-6_00384
地域情報	その他 備考：
作成・発行時期	1802年／享和2年／江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	75(H)×45(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得（K08コン3001）

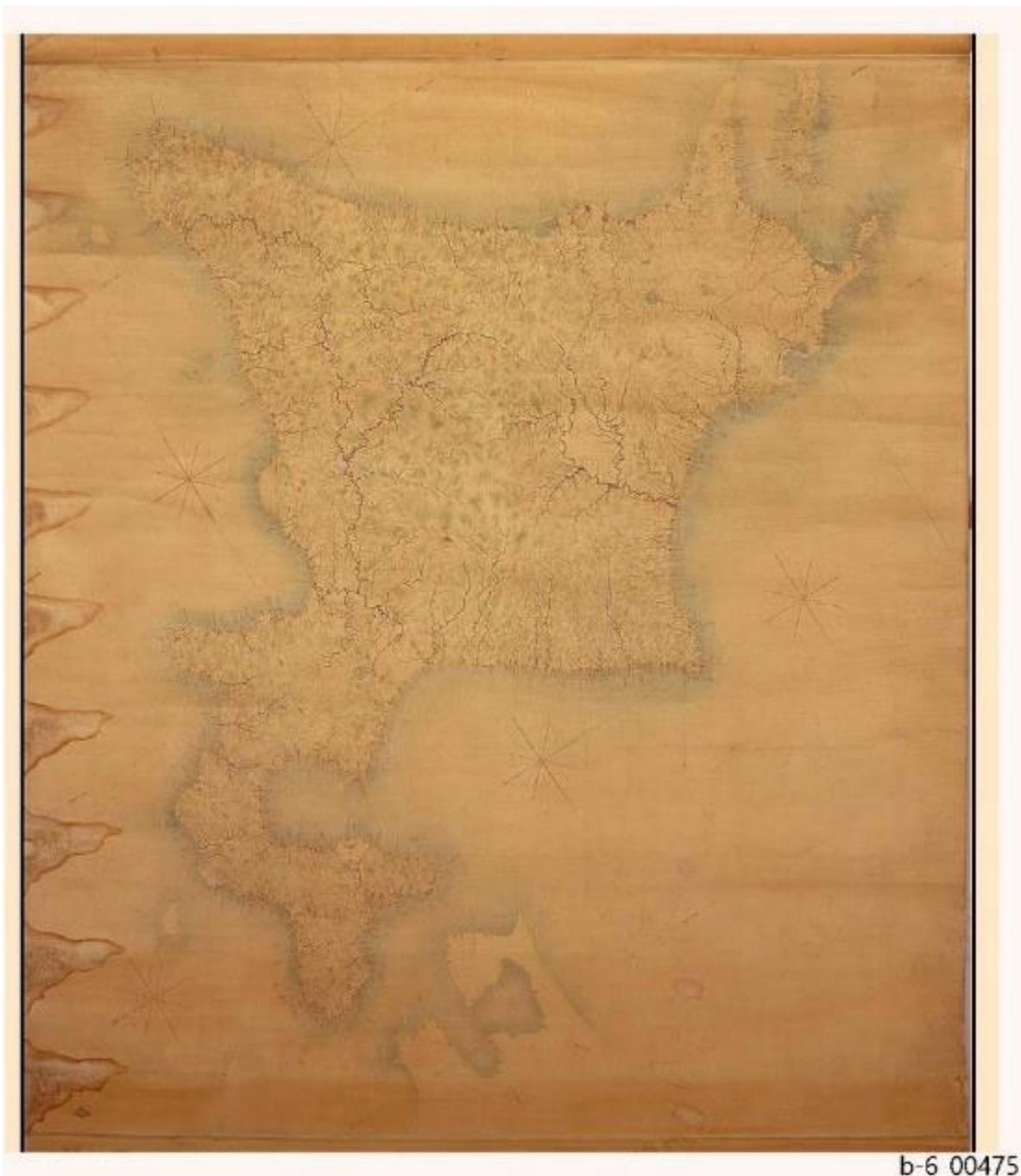
近藤重藏は江戸出身の幕府の役人である。数度にわたってイトロフ島と蝦夷地の実地調査に携わり著作も多い。寛政12年(1800)に千島アイヌの聞き書きによって作成された「チュプカ諸島図」(千島列島図)と当時として正確な図形をもつ享和2年(1802)作成の「蝦夷地図」の2枚組図である。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。

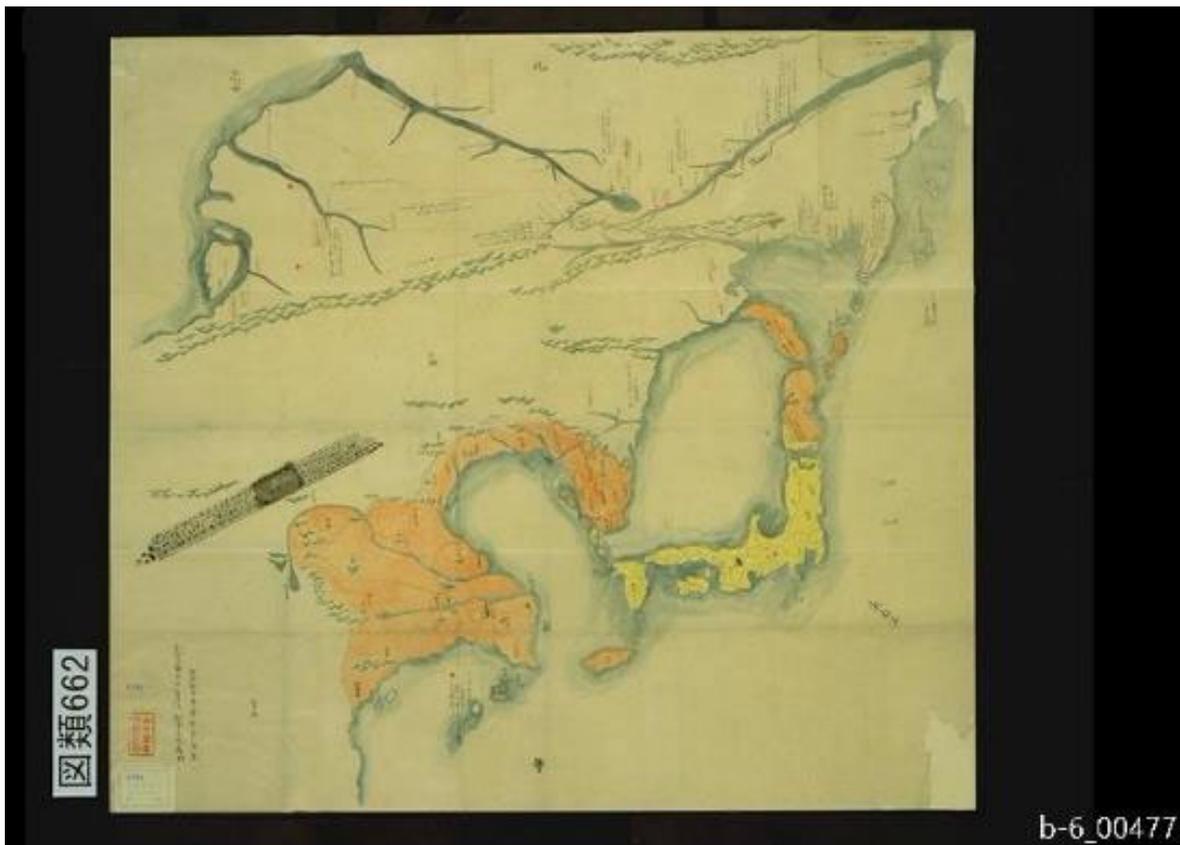


資料名	伊能氏実測北海道之図 乙(画像データ)
資料整理番号	b-6_00439
地域情報	国後島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	150(H)×145(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類38(2)） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001320000002000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001320000002000</a> 伊能忠敬は現千葉県香取市の豪商であったが、隠居後に江戸に出て天文・測量術を学び、初めて蝦夷地測量を実施した。その後、17年間にわたって全国の沿岸測量に従事した。文政4年(1821)に『大日本沿海輿地全図』(大・中・小図)が完成したが、本図はその内の中図(8枚組)の2枚である。写図・着彩。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00475

資料名	北海道全図(河川図) (画像データ)
資料整理番号	b-6_00475
地域情報	国後島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	128(H)×112(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物37) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00195000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00195000000000</a></p> <p>間宮林蔵は現茨城県つくばみらい市出身で、カラフト島の探検で知られる。その間宮が、伊能忠敬から測量術を学び、文化8年(1811)から文政4年(1821)まで蝦夷地測量した結果の蝦夷図である。内陸部も詳細に描かれ、記入された河川の数に500を数える。写図・着色。</p> <p>江戸中期 (1781-1820) 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



資料名	莫斯科亜魯齊亜地理図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00477
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	72(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類662） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D02085000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D02085000000000</a> 大黒屋光太夫は現三重県鈴鹿市出身の船頭である。天明2年(1782)、江戸に向けて出帆した船は漂流した。苦難の末にロシアの首都に到着、寛政4年(1792)に10年間にわたる漂流生活を終え根室に帰着する。本図は光太夫がロシアから持ち帰った図に基づいて作成されたと推測される図である。写図・着彩。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名	新製蝦夷接域図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00435
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	136(H)×140(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類614） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000770000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000770000000000</a> 最上徳内の著わした『蝦夷風俗人情之沙汰』（別名『蝦夷草紙』）に付録された5枚組の地図を山田 聯が1枚にまとめた図と推測される。山田は幕府の若年寄・堀田正敦に仕えた地理学者である。経緯度線が引かれているのが興味深い。写図・着色。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00399

資料名	蝦夷地全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00399
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	144(H)×140(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得 (K29010Eソ6001)  山田聯図である。蝦夷地を中心として北にはカラフト島、東側にはクナシリ・エトロフ両島を載せ、経緯度線も引かれている。写図・着彩。  江戸中期 (1781-1820) 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00406

資料名	松前蝦夷地図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00406
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	86(H)×124(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（軸物867） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000790000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000790000000000</a> 山田聯図「新製蝦夷接域図」にほぼ同様の蝦夷地図である。しかし、カラフト島は描かれていない。蝦夷地周辺に航路が引かれ、説明文も詳細である。蝦夷地の周囲は「凡七百余里」と記している。写図・着彩。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名 蝦夷地図 其一(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00381

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸中期

寄贈者/入手元 函館市中央図書館デジタル資料館

資料の寸法 cm 132(H)×189(W)

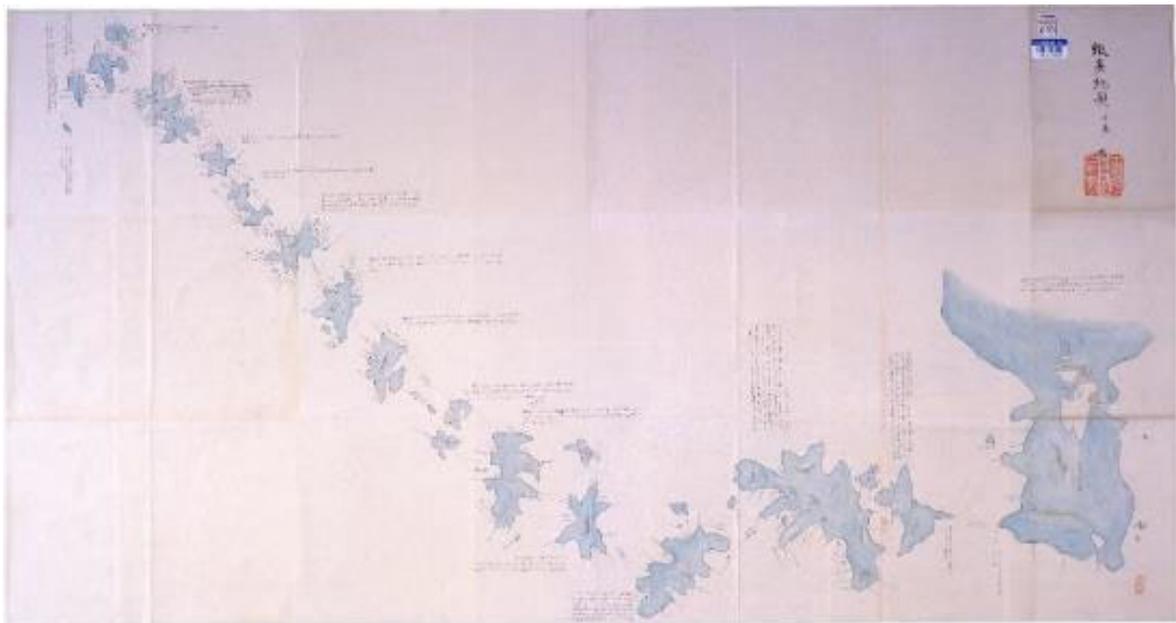
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010Eソ6001)

秦 億丸は現三重県伊勢市出身で、測量術を極め、画家としても優れ、幕府の役人も勤めた人物である。この図は文化3年(1806)に作成された図で、上部に日本周辺図を載せる。カラフト島は離島として描かれ、エトロフ島は大きく描かれている。蝦夷図と千島列島図の2枚組である。写図・着彩。

江戸中期 (1781-1820)

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00382

資料名	蝦夷地図 其二(画像データ)
資料整理番号	b-6_00382
地域情報	その他 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	152(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得 (K29010Eソ6001)

秦 憶丸は現三重県伊勢市出身で、測量術を極め、画家としても優れ、幕府の役人も勤めた人物である。この図は文化3年(1806)に作成された図で、上部に日本周辺図を載せる。カラフト島は離島として描かれ、イトロフ島は大きく描かれている。蝦夷図と千島列島図の2枚組である。写図・着彩。

江戸中期 (1781-1820)

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00374

資料名	蝦夷群嶋図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00374
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	191(H)×235(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010Eソ6005)  櫛丸による「蝦夷地図」と同様の図形をもち、秦櫛丸による作成図である。上部に日本周辺図が載る。クナシリ島・エトロフ島の地名が詳細である。写図・着色。  江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名 松前蝦夷地嶋図 1・2・3 (画像データ)

資料整理番号 b-6\_00408

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸中期

寄贈者/入手元 北海道大学附属図書館北方資料室

資料の寸法 cm 108(H)×116(W)

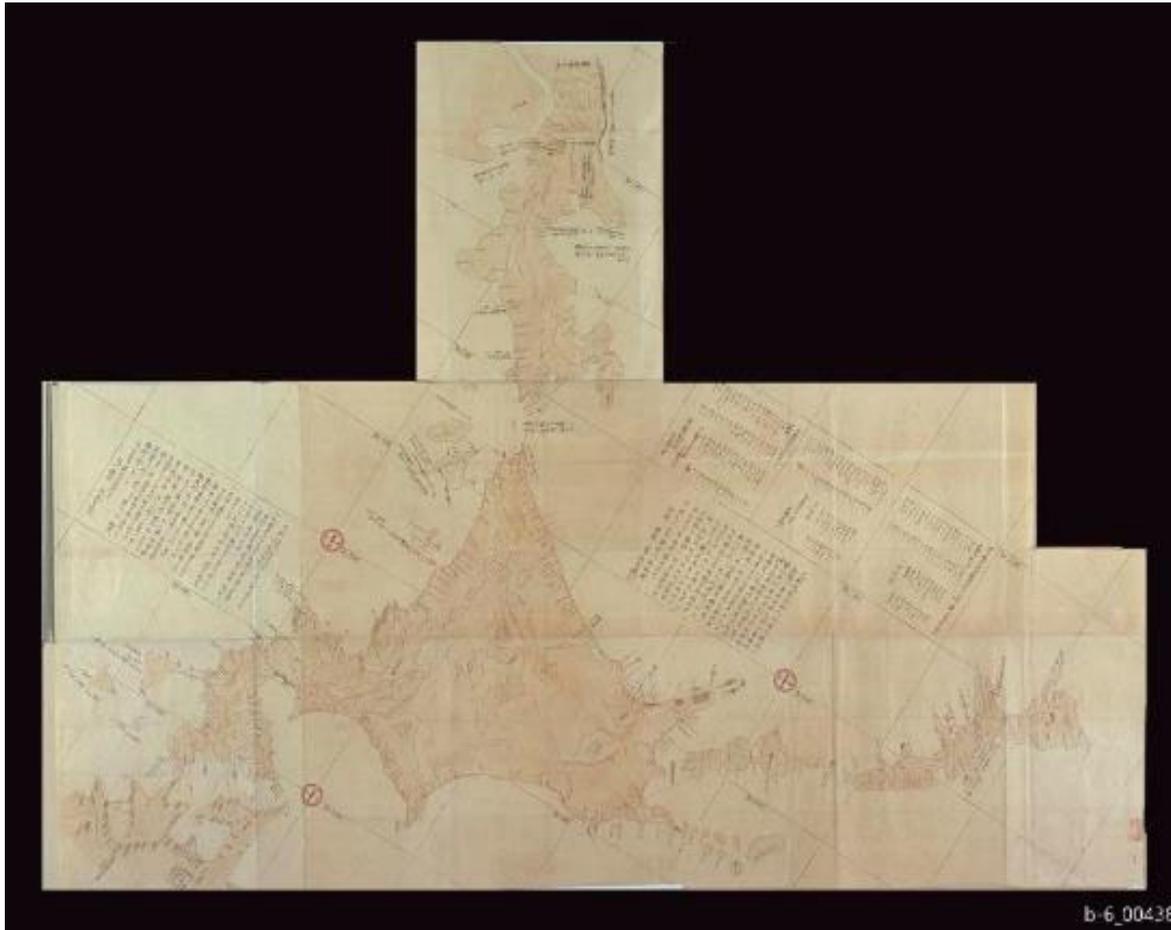
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類651）  
<https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00121000001000&lang=0>

秦 檉丸が文化5年(1808)に作成した『蝦夷島地図』(自筆図・京都大学博物館所蔵)を3枚に分割した写図である。蝦夷地の北部がやや長めであるが、内陸部の描写が詳しいのが特徴である。図中に「文化13年、村上直之写」と記されている。村上直之は蝦夷地の場所請負人(松前藩から漁業権を得た者)の一人である。写図・着色。

江戸中期（1781-1820）

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。

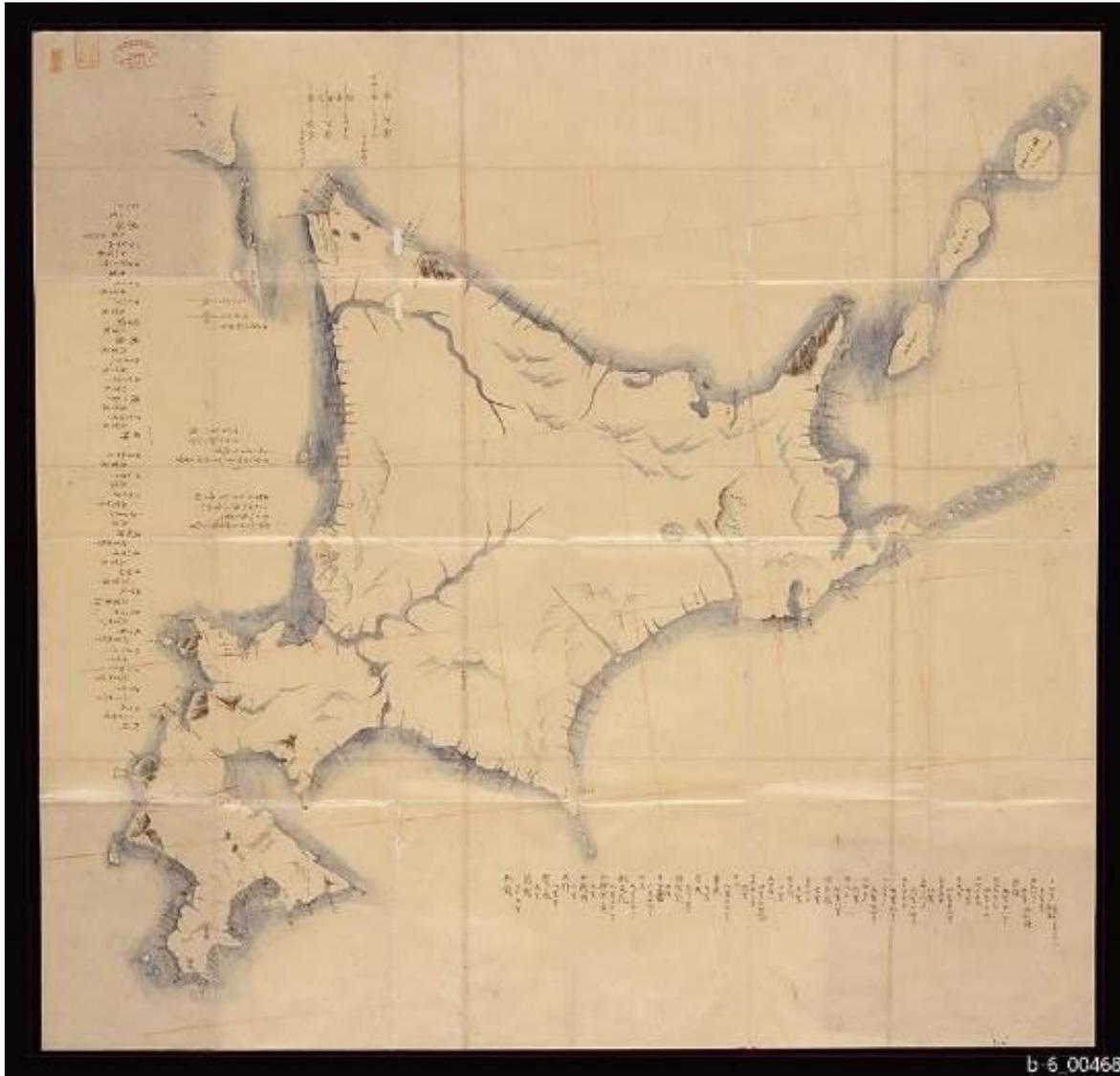


資料名	蝦夷唐太写真図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00438
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	138(H)×180(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類865) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001150000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001150000000000</a></p> <p>近藤重藏作成になる地図の系統であるが、カラフト島は大陸に接続するように描かれ、経緯度線も引かれる。序文によって文化5年(1808)、膳所(現滋賀県大津市)藩士・澤義周の作成図であることが分かる。写図・着彩。</p> <p>江戸中期 (1781-1820) 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



b-6\_00375

資料名	蝦夷国輿地全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00375
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	144(H)×171(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010タイ600)  文化5年(1808)に平群政隆の写した蝦夷図である。カラフト島は大陸に接続する半島として描かれ、経緯度線も引かれている。序文に依れば、この図は膳所藩士・澤義周の「蝦夷唐太写図」を写したようである。写図・着彩。  江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。

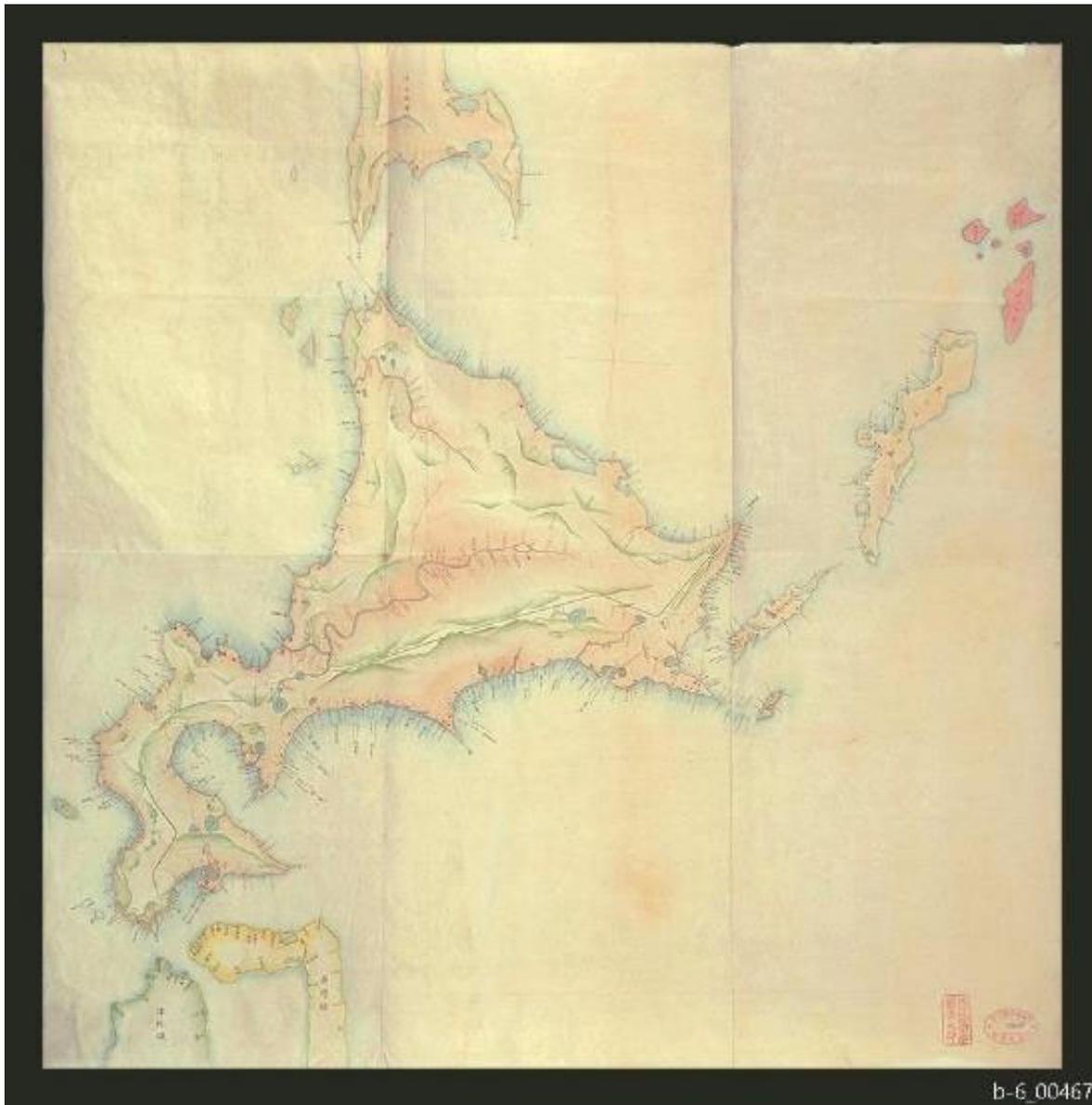


資料名	蝦夷一円図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00468
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	99(H)×104(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類616) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00123000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00123000000000</a> 天保14年(1843)に渡辺政挙が写した地図で、近藤重藏系統図である。写図・着彩。 江戸中期(1781-1820) 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00379

資料名	蝦夷松前一円図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00379
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	104(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010Eソ5003)  蝦夷地の北部の大きな突き出しが変形して、平坦な図形になっている。また、カラフト島は半島状である。文政2年(1819)の写しである。写図・着彩。  江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00467

資料名	東西蝦夷地図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00467
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	80(H)×82(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類870) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00110000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00110000000000</a></p> <p>蝦夷地の図形を見ると日本海沿岸は正確であるが、太平洋沿岸は不正確である。とくに太平洋沿岸の襟裳岬の突き出しが極端に小さい。また、東西蝦夷地の境界線が引かれる。文化3年(1806)前後の作成と思われる、東北諸藩の警備に使用されたと推測される図である。写図・着彩。</p> <p>江戸中期 (1781-1820) 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



b-6\_00391

資料名 仙台藩一条坦旧蔵蝦夷地全図(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00391

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸中期

寄贈者/入手元 函館市中央図書館デジタル資料館

資料の寸法 cm 88(H)×82(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010セン6002)

蝦夷地の図形を見ると日本海沿岸は正確であるが、太平洋沿岸は不正確である。襟裳岬の突き出しが小さく、東西蝦夷地の境界線はない。仙台藩土の旧蔵であり、5箇所東北諸藩の警備を示す「陣屋」の付箋がある。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）

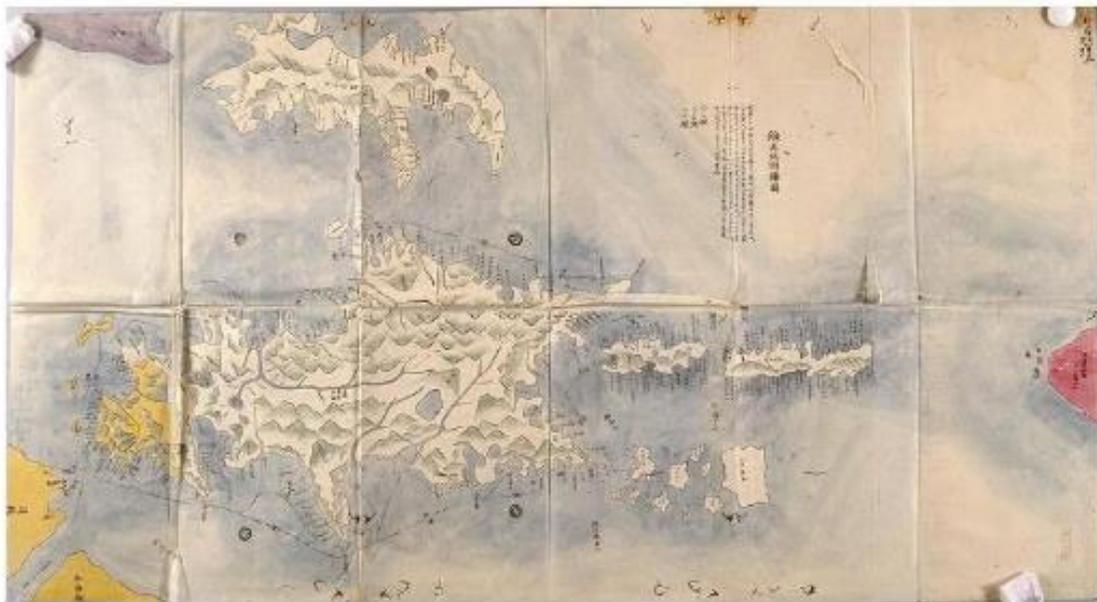
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名	蝦夷松前図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00456
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	35(H)×44(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類873） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00067000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00067000000000</a>

文化初年(1804～)頃に出版された木版図の写しである。図形は天明5、6年(1785～6)幕府調査隊によって作成された蝦夷地図を基にして作られたものである。写図・着彩。

江戸中期（1781-1820）  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00437

資料名	蝦夷地澗絵図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00437
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	63(H)×118(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類74） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000940000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D000940000000000</a> 文化初年(1804～)頃に『諸国輿地図』と題して、木版で出版された6枚組の1枚である。寛政3年(1791)頃作成の加藤肩吾作成図と同じ系統の地図である。表題は『蝦夷全図』である。木版・色刷。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00351

資料名	文化改正拾遺日本北地全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00351
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道立図書館北方デジタルライブラリー
資料の寸法 cm	127(H)×135(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

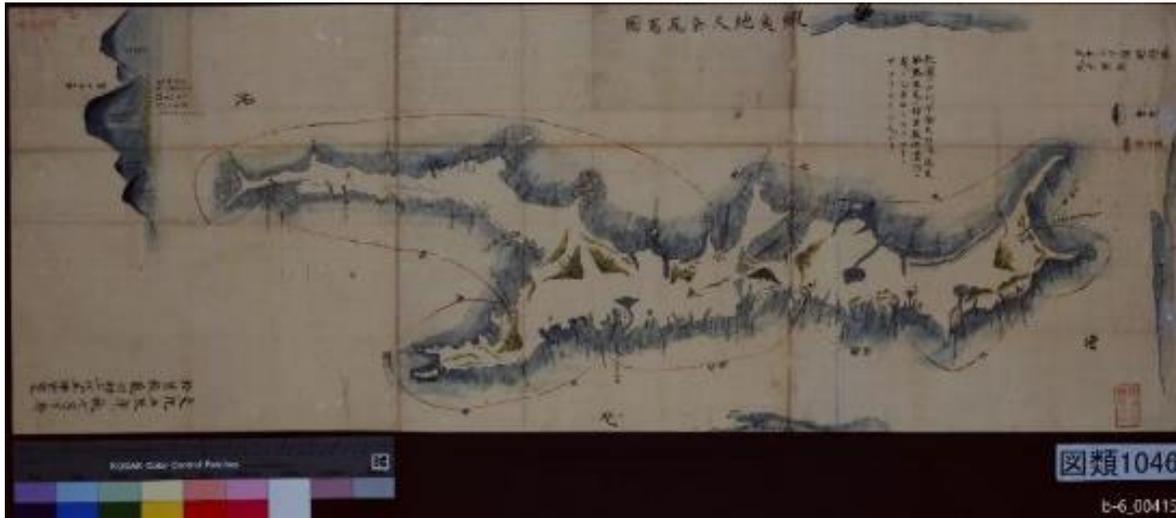
備考  
北海道立図書館より画像データを申請のうえ  
取得。  
管理番号1631

この図は寛政3年(1791)頃、松前藩士・加藤肩吾作成の蝦夷図に基づいて出版されたものである。木版図として当時は相当大きなものであり、経緯度線が記入されている。文化5年(1808)前後のものかと推測される。木版・色刷。

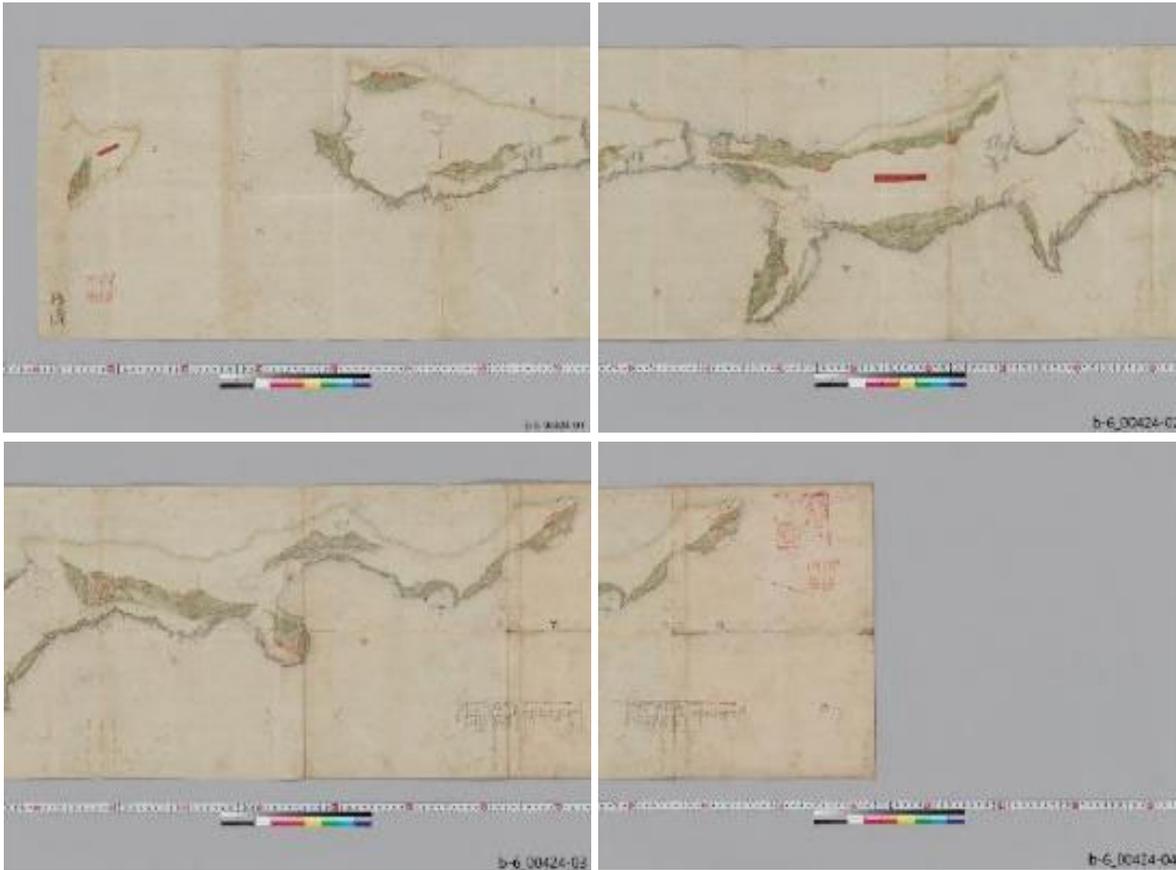
江戸中期 (1781-1820)  
天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名	アトロフ・クナシリ新図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00414
地域情報	択捉島 国後島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	152(H)×114(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類627) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D01978000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D01978000000000</a> 寛政11年(1799)、幕府の雇船頭であった現兵庫県淡路島出身の高田屋嘉兵衛が、クナシリ島とアトロフ島との間の潮流が激しく航海するのが困難であったため、潮流の動静を調べ、遂に安定した航路を定めた。この時の状況を描写したものである。写図・着彩。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名	蝦夷地久奈尻島図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00415
地域情報	国後島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	39(H)×108(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類1046) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D01980000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D01980000000000</a></p> <p>寛政12年(1800)に幕府の役人がクナシリ島を巡見した折りの航路を示している。文化5年(1808)に筥館(現函館市)陣営で写した図である。写図・着彩。</p> <p>江戸中期 (1781-1820) 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



資料名	エトロフ島大概地図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00424
地域情報	択捉島 備考：
作成・発行時期	江戸中期
寄贈者/入手元	国立公文書館
資料の寸法 cm	39(H)×109(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	国立公文書館より画像データを申請のうえ取得

間宮林蔵は現茨城県つくばみらい市の出身であるが、幕府の雇として蝦夷地に赴き、文化3年(1806)から翌4年にかけてエトロフ島で勤務し、島の測量に従事した。本図はこのときに作成されたものと推測される。図中に凡例と里程を載せるが、地名は北海岸に多く記載されている。国立国会図書館所蔵『蝦夷図』に本図がそのまま描写されている。公文書写図・着彩。

江戸中期 (1781-1820)

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



資料名 江登呂府嶋ヨリカムサス力迄嵐々ノ図  
(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00421

地域情報 択捉島  
備考：

作成・発行時期 江戸中期

寄贈者/入手元 北海道大学附属図書館北方資料室

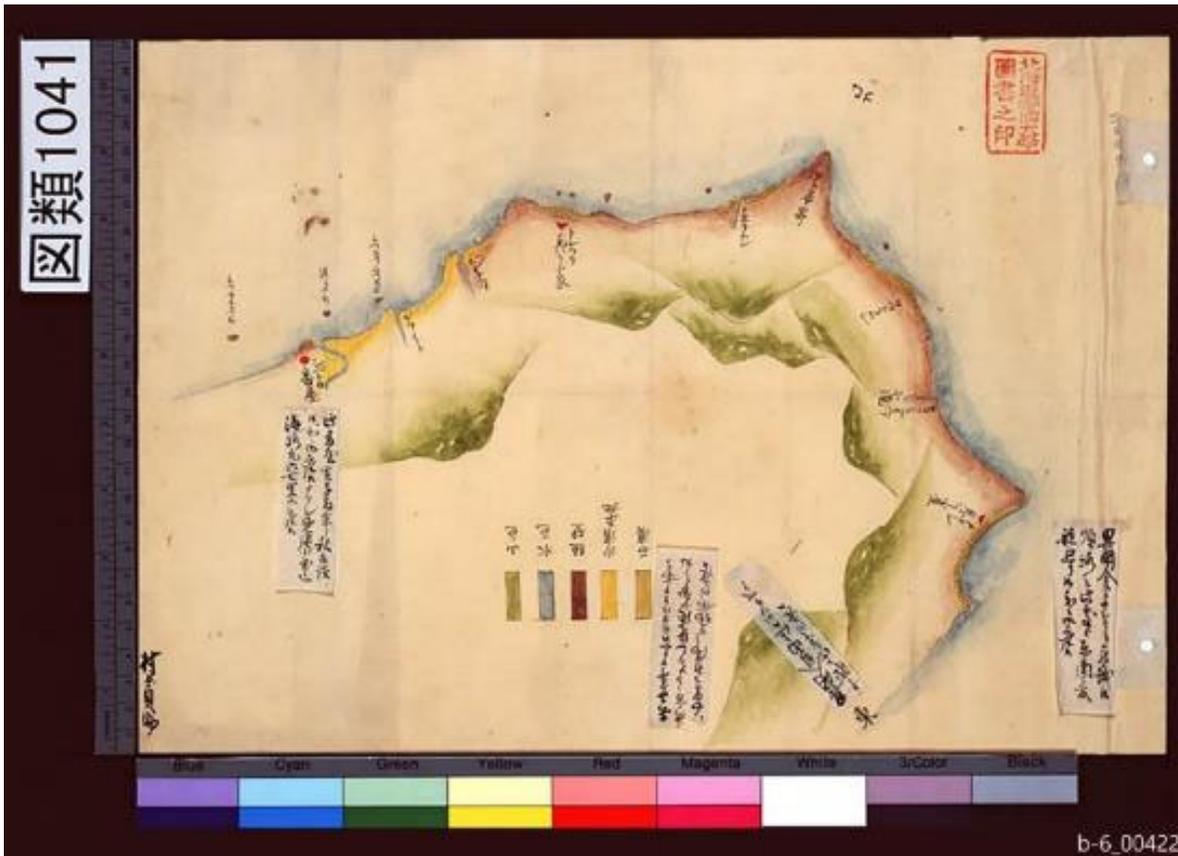
資料の寸法 cm 27(H)×145(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類1043）  
<https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D019840000000000>

享和3年(1803)、南部牛滝村の船頭・継右衛門一行は箱館(現函館市)近在の臼尻村(現函館市)を出帆し、大暴風雨に遭いカムチャツカに漂着、苦難の末の文化4年(1807)エトロフ島に到着し、次いで箱館に帰着した。そのときに作成された図であり、漂流の経過を記している。写図・着色。

江戸中期（1781-1820）天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



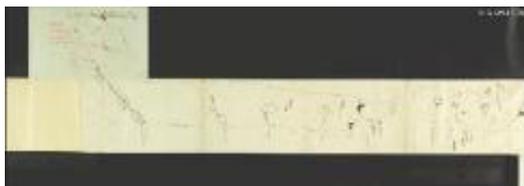
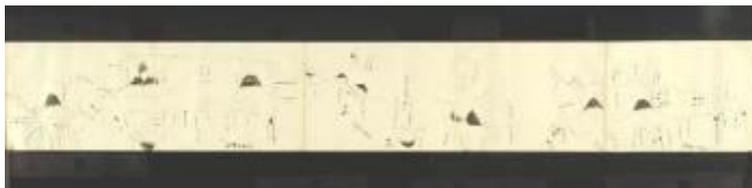
資料名	イトロフ島アトエヤ附近図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00422
地域情報	択捉島 備考：
作成・発行時期	1804～17年／文化年間／江戸中期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	27(H)×40(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類1041） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D01991000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D0199100000000000</a> 図中に付箋が4枚貼付され、それによると異国人の渡来や見張小屋などについて記す。文化年間(1804～17)に作成されたらしく、間宮林蔵の養子となった村上貞助の自筆と推測される。写図・着彩。 江戸中期（1781-1820） 天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6\_00417\_01



b-6\_00417\_02



資料名 文化九年ラソワ夷人より聞取千嶋図  
(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00417

地域情報 その他  
備考：

作成・発行時期 江戸中期

寄贈者/入手元 北海道大学附属図書館北方資料室

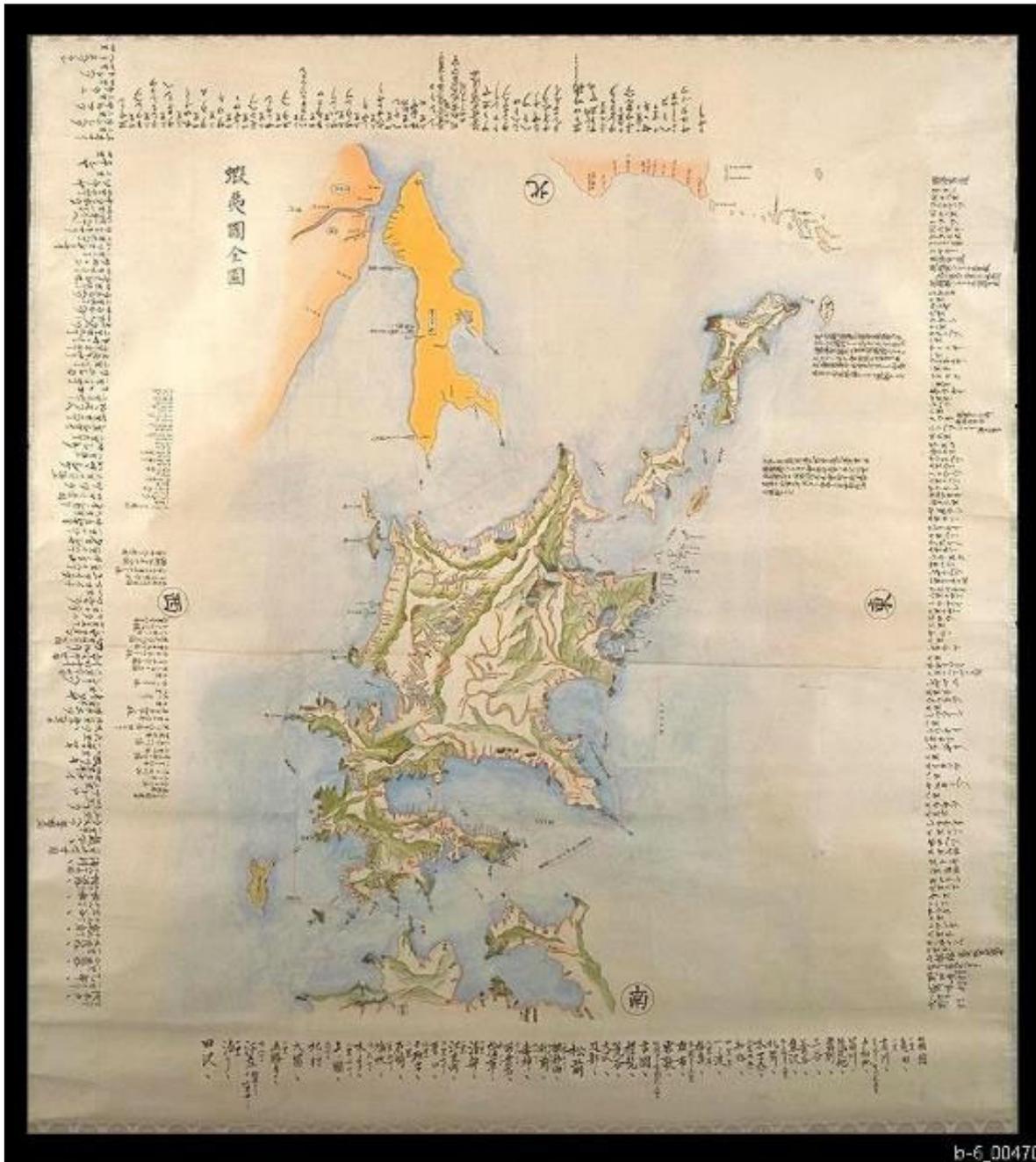
資料の寸法 cm 24(H)×34(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類855-1）  
<https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D019900000000001>

文化8年(1811)、クナシリ島においてロシア人ゴロウニンと共に捕らえられた千島アイヌの聞き取りによって作成された図である。カムチャツカからウルップ島までを描いているが、翌9年の作成で折帳である。写図・無彩。

江戸中期（1781-1820）天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。

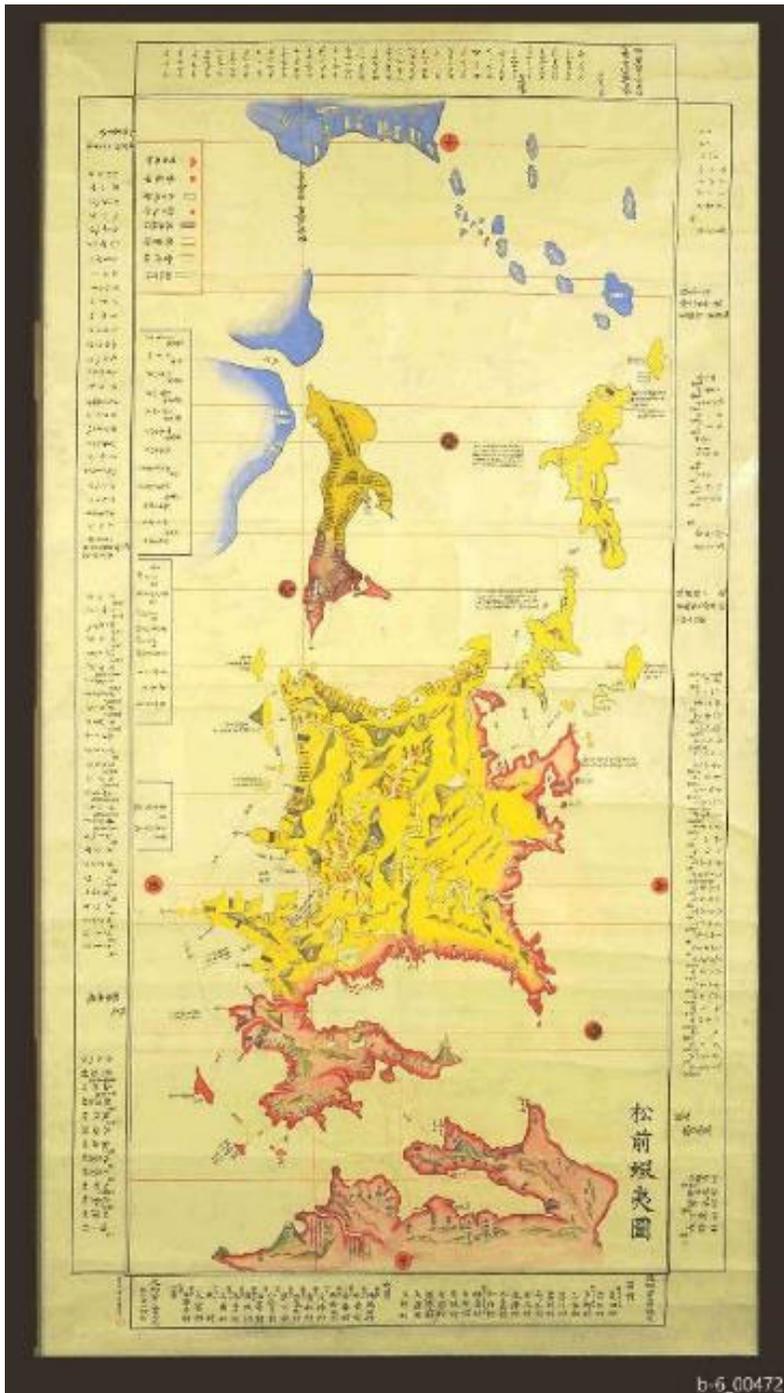


資料名	蝦夷国全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00470
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	123(H)×114(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物20) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00151000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00151000000000</a> 文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図である。従来の地図と大きく変わったのは、図の周囲に地名一覧表を掲載したことである。また、カラフト島も間宮林蔵の作成図による離島図とし、千島列島はカムチャツカまで描いている。写図・着彩。 江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6\_00441

資料名	蝦夷地全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00441
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	118(H)×88(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類620) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001430000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D001430000000000</a> 文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図は作成後に大いに写されたらしく、今に現存する図が多い。本図もそのような1枚である。写図・着彩。 江戸後期 (1821-1868) 文政4年(1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6\_00472

資料名	松前蝦夷図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00472
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	130(H)×70(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物97) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00175000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00175000000000</a> 文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図である。写図・着色。 江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6\_00388

資料名 三嶽部落里程細密蝦夷国一円之図  
(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00388

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸後期

寄贈者/入手元 函館市中央図書館デジタル資料館

資料の寸法 cm 149(H)×94(W)

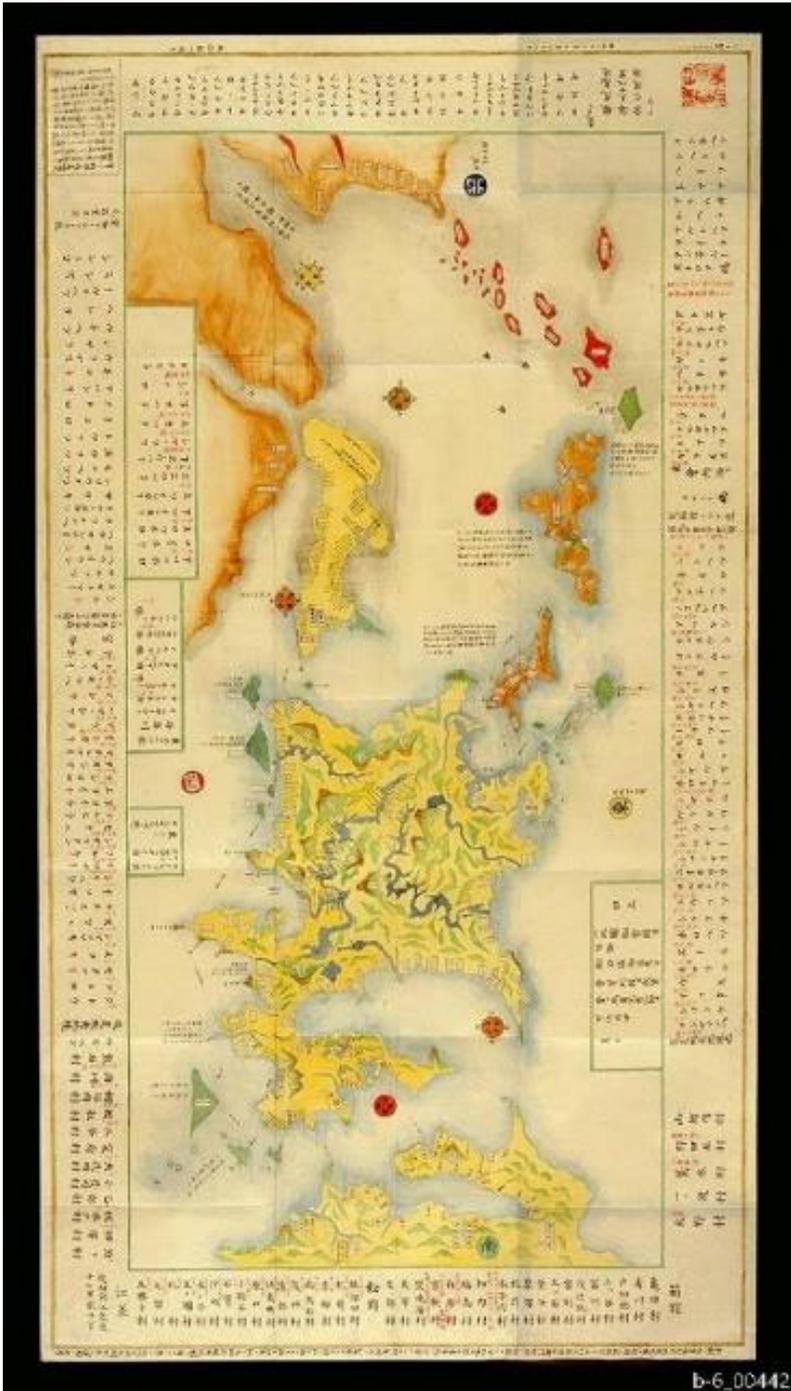
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010サン5001)

文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図である。写図・着彩。

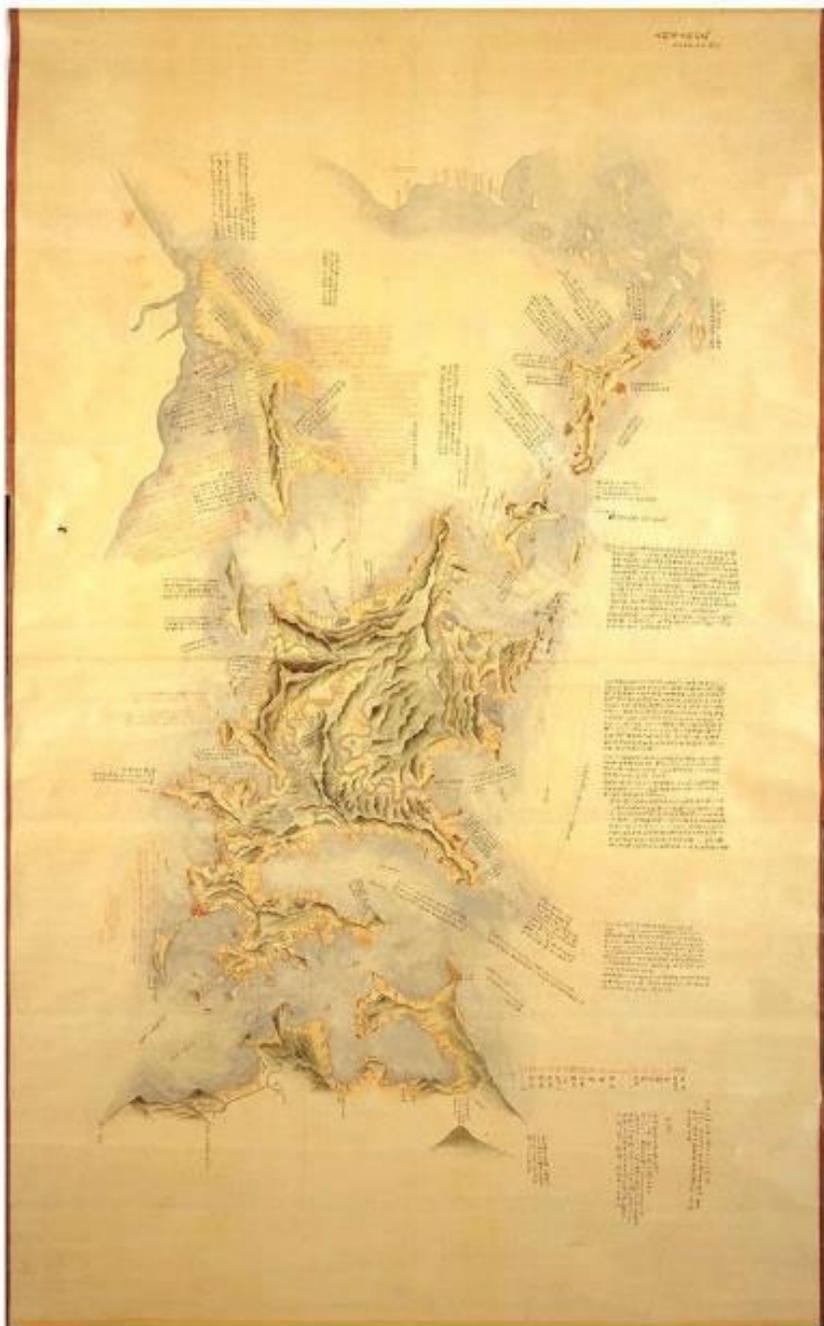
江戸後期 (1821-1868)

文政4年(1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6\_00442

資料名	大宝鏡松前蝦夷地図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00442
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	138(H)×75(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類277) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00149000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00149000000000</a> 文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図であるが、明治23年(1890)の写しである。写図・着彩。 江戸後期 (1821-1868) 文政4年(1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



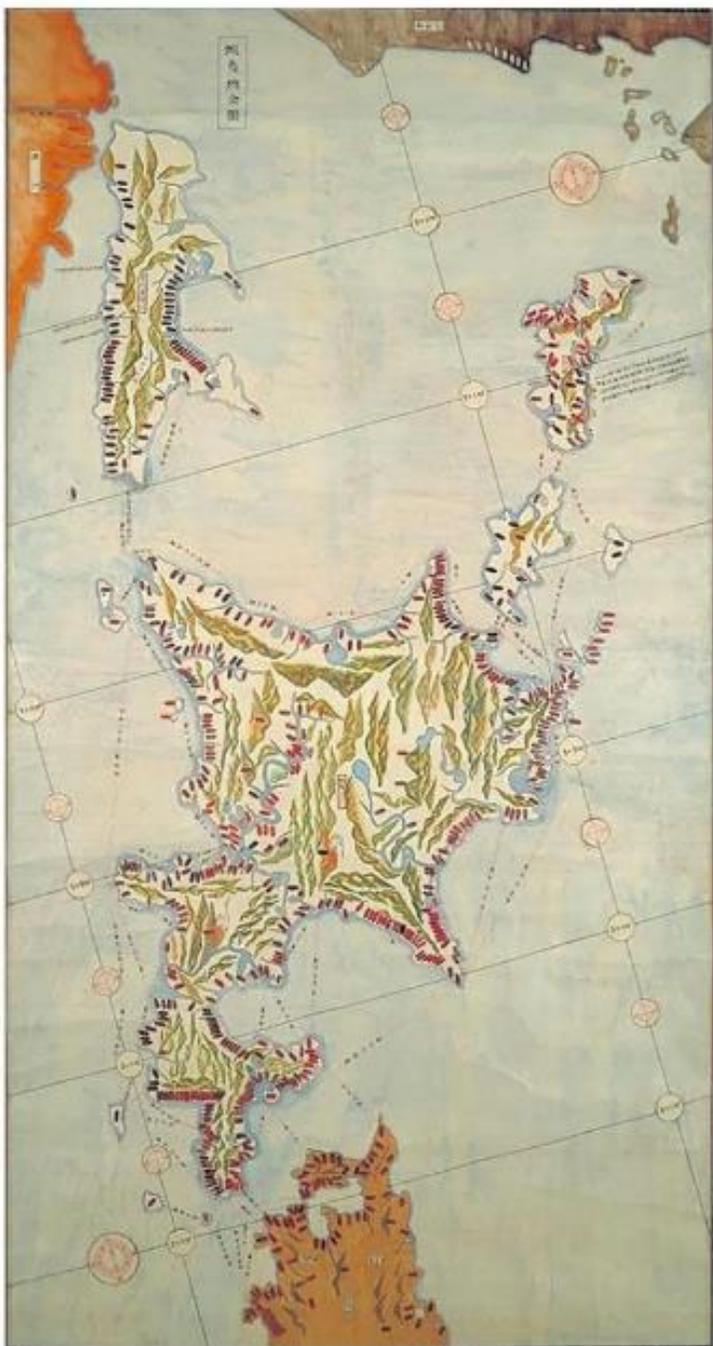
b-6\_00471

資料名	蝦夷秘図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00471
地域情報	全島 備考-
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	153(H)×95(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物52) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00152000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00152000000000</a></p> <p>文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図であるが、周囲の地名里程一覧表はなく、周囲に多くの記事を掲載するのが特徴である。写図・着彩。</p> <p>江戸後期(1821-1868) 文政4年(1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。</p>



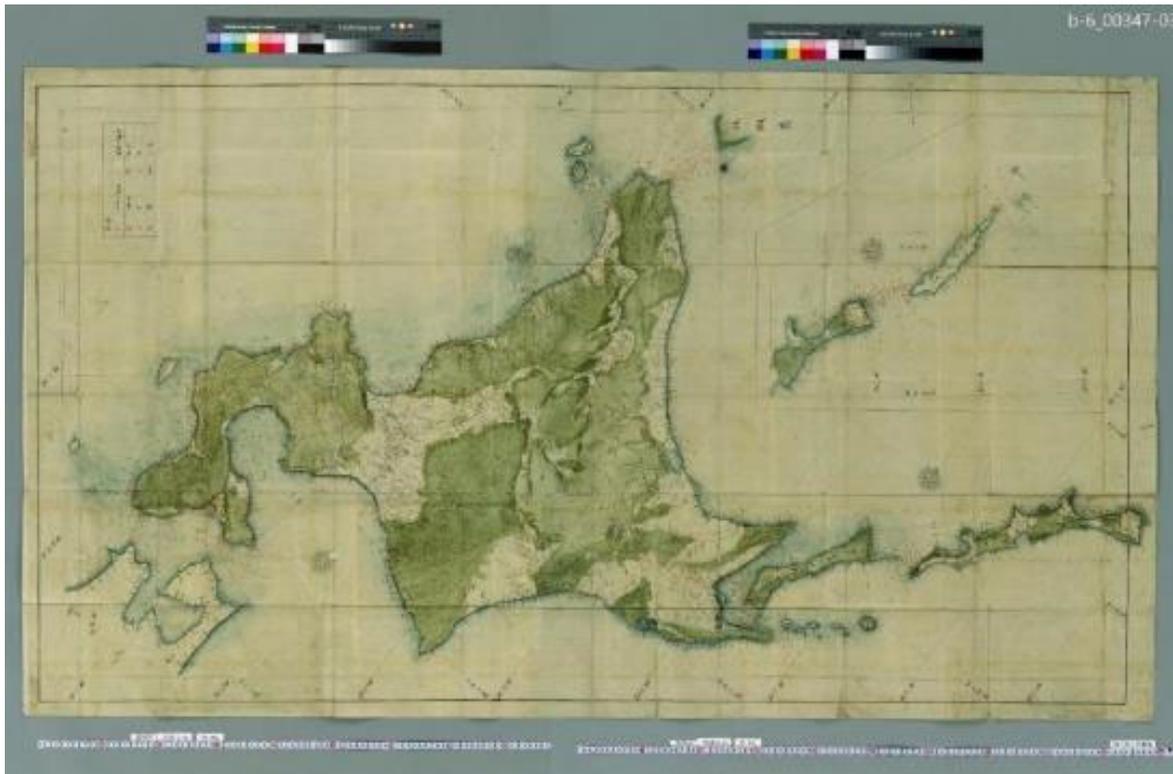
b-6\_00532

資料名	蝦夷国精写図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00532
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	108(H)×78(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010Eソ8001)  文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図であるが、周囲の地名一覧はなく、嘉永5年(1852)の写しである。写図・着彩。  江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6\_00469

資料名	蝦夷地全図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00469
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	147(H)×78(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(軸物72) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00139000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00139000000000</a> 文化の末から文政期(1818～)にかけて作成されたと推測される蝦夷図であるが、従来の図と大きく相違するのは、蝦夷地の図形がさらに正確さを増していることである。このような図は少ない。 写図・着彩。 江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



資料名	蝦夷図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00347
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	1826年頃 / 文政9年頃 / 江戸後期
寄贈者/入手元	国立国会図書館デジタルコレクション
資料の寸法 cm	112(H)×196(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	国立国会図書館(寄別13—65)に画像データを申請のうえ取得  幕府の天文方であった高橋景保が、幾つかの蝦夷図を参照して作成したといわれる図である。クナシリ島・イトロフ島・ウルップ島まで描かれ、イトロフ島図は間宮林蔵の作成図を使用している。後年、シーボルトに譲渡された図の1枚である。作成は文政9年(1826)頃と推測されている。写図・着彩。  江戸後期 (1821-1868) 文政4年 (1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



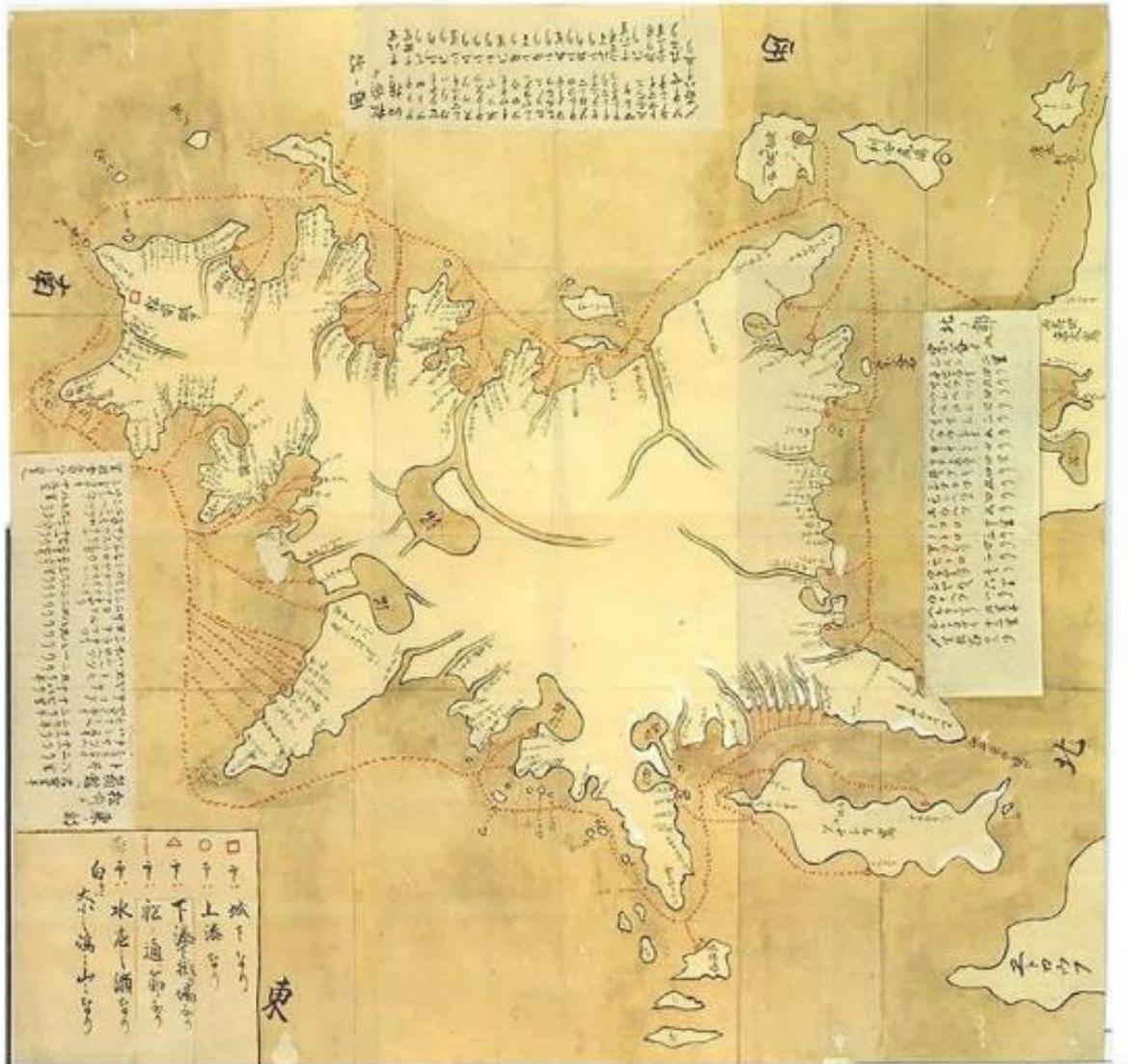
b-6 00462

資料名	蝦夷之図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00462
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	77(H)×64(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得（図類1128） <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00093000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00093000000000</a>  幕末の嘉永年間に作成されたと思われる図である。三箇所に地名里程表を記載し、方位盤も描かれている。写図・着色。  江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b\_6\_00459

資料名	蝦夷全島古図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00459
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	82(H)×84(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類621) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00084000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00084000000000</a> 幕末に写された図と推測され、ほぼ円形状に描かれた蝦夷地図である。図中に中村小市郎・高橋治太夫のカラフト島巡検について記している。 写図・着彩。 江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



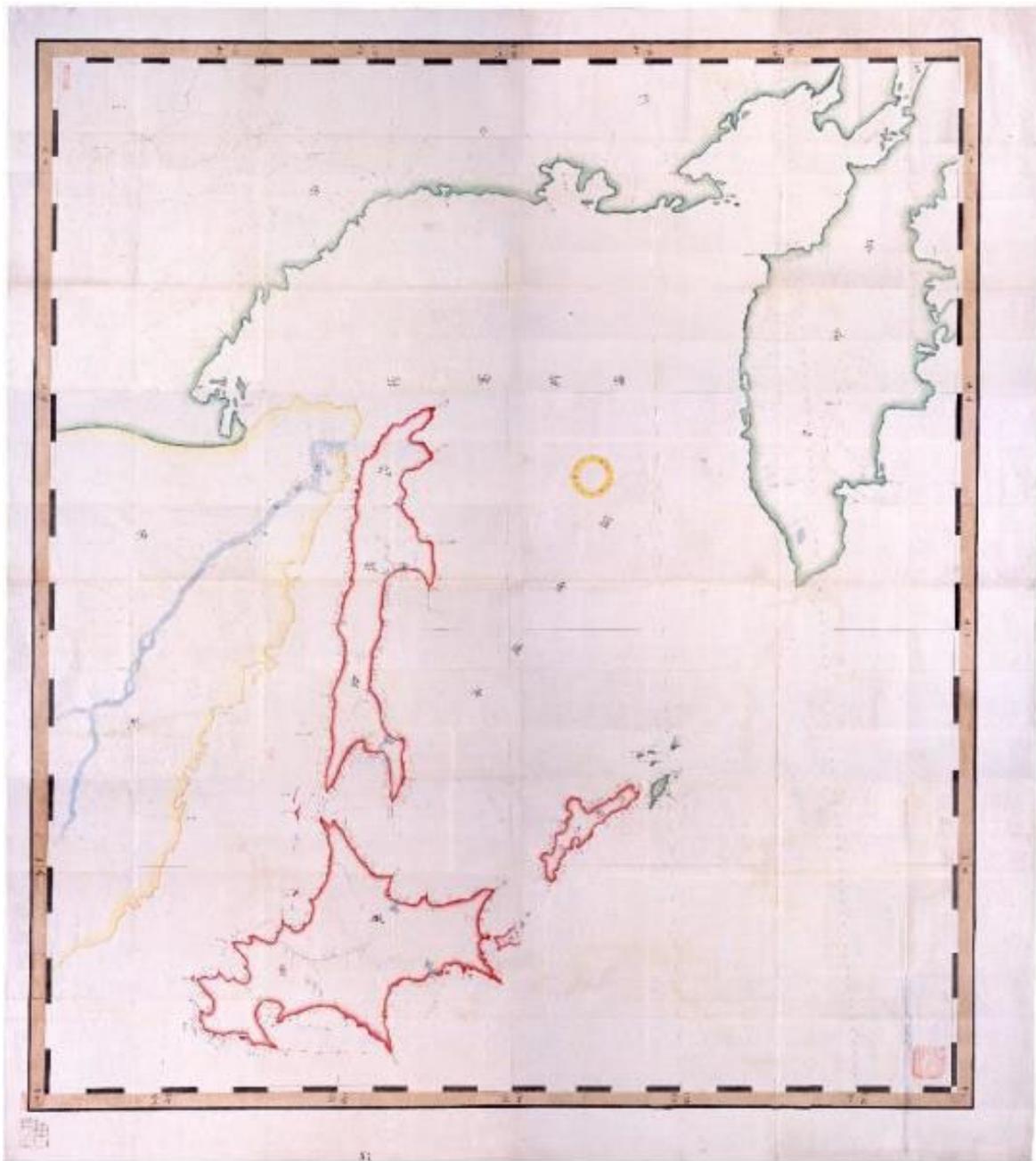
b-6\_00463

資料名	蝦夷地海路写図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00463
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	北海道大学附属図書館北方資料室
資料の寸法 cm	81(H)×78(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道大学附属図書館北方資料室より画像データを申請のうえ取得(図類1052) <a href="https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00097000000000">https://www2.lib.hokudai.ac.jp/cgi-bin/hoppodb/record.cgi?id=0D00097000000000</a> 幕末の写しと思われる蝦夷地図である。ほぼ円形状をもち、三箇所に蝦夷地の地名一覧を載せている。写図・着彩。 江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



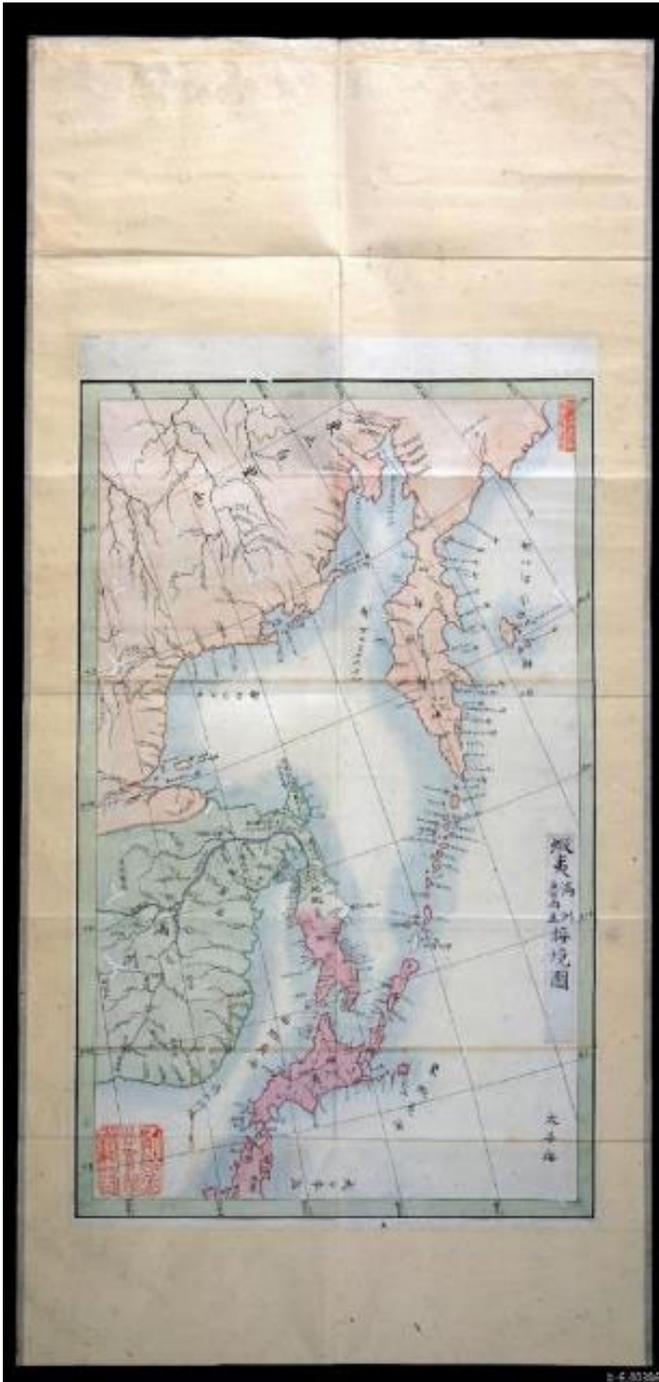
b-6\_00380

資料名	蝦夷地図(画像データ)
資料整理番号	b-6_00380
地域情報	全島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	124(H)×83(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010Eソ4015)  文政4年(1821)に写された蝦夷図であるが、この図形は後年の天保9年(1838)に幕府が作成した天保国絵図「松前島図」と同一の図形である。写図・着彩。  江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6\_00385

資料名	蝦夷北蝦夷満州阿谷部甘查加大図 (画像データ)
資料整理番号	b-6_00385
地域情報	択捉島、国後島 備考：
作成・発行時期	江戸後期
寄贈者/入手元	函館市中央図書館デジタル資料館
資料の寸法 cm	183(H)×166(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	函館中央図書館より画像データを申請のうえ取得(K29010Eソ7001)  蝦夷地・カラフト島・エトロフ島を中心にカムチャツカ半島からシベリア地方までの広大さを表現する。幕末になってから外国製の地図に基づいて作成されたものと推測される。写図・着色。  江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



資料名 蝦夷満州魯西亜境界図(画像データ)

資料整理番号 b-6\_00386

地域情報 全島  
備考：

作成・発行時期 江戸後期

寄贈者/入手元 函館市中央図書館デジタル資料館

資料の寸法 cm 67(H)×40(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 函館中央図書館より画像データを申請のうえ  
取得(K29010Eソ5002)

嘉永6年(1853)に出版された『満州魯西亜疆界図』に基づいて作成された図と思われる。幕末の図であるが、いまだカラフト島が半島状である。経緯度線が引かれているのが新しい。写図・着色。

江戸後期 (1821-1868)

文政4年(1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。